

松山市 進学・就職に関するアンケート

報告書

《 目 次 》

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査時期	1
(4) 回収数等	1
II. 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 進学予定者への質問	8
(1) 進学について	8
(2) 将来の就職について	17
3. 就職予定者への質問	19
4. その他	38

I. 調査の概要

1. 調査の目的

「松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めるに当たり、市内の学生に進学や就職に関する意向を尋ね、学生の希望を松山市で実現するための方策や、松山市をより魅力的なまちにするための取組を検討するために実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

松山市内の高校・大学・専修学校（専門学校等）に通学する生徒・学生 2,000 人。

(2) 調査方法

各学校において調査票を配布・回収。

(3) 調査時期

平成 27 年 7 月 10 日（金）～ 7 月 27 日（月）

(4) 回収数等

配布数	2,000 票
回収数	1,865 票
有効回収数	1,863 票
有効回収率	93.2 %

※この調査では高校、大学、専修学校（専門学校等）の生徒・学生に、同一内容のアンケートを実施しており、グラフは学校の種類毎にそれぞれ作成している。

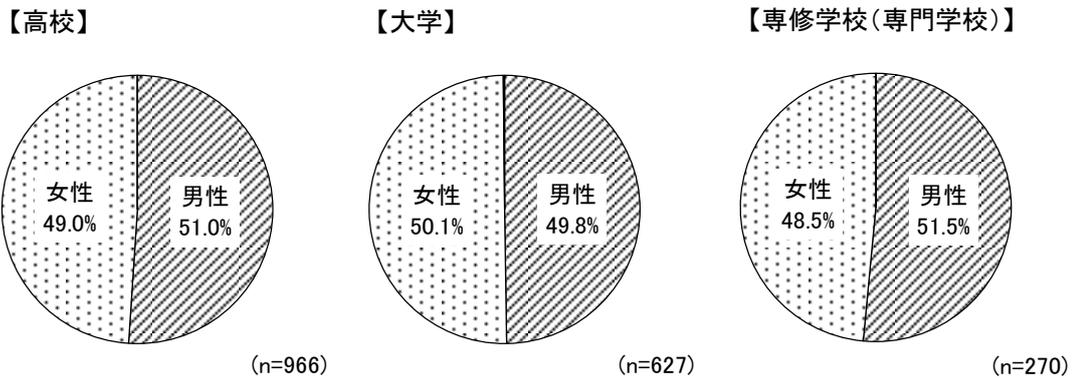
II. 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別(問1)

性別は、高校生は「男性」が51.0%で「女性」が49.0%、大学生は「男性」が49.8%で「女性」が50.1%、専修学校（専門学校）生は「男性」が51.5%で「女性」が48.5%となっている。

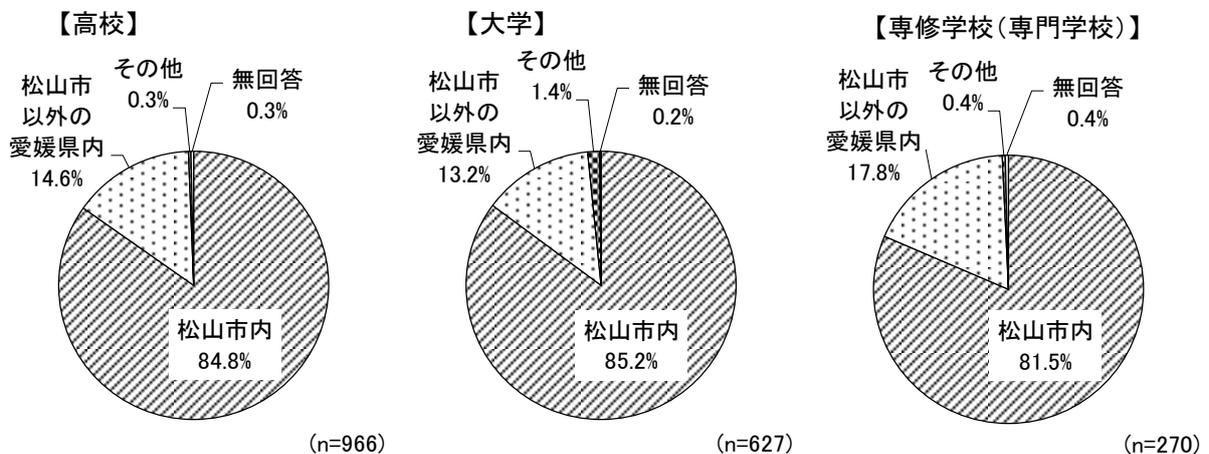
図表 II-1 性別



(2) 居住地域(問3)

居住地域は、どの学校でも「松山市内」が8割以上と最も高く、高校生は「松山市内」が84.8%、「松山市以外の愛媛県内」が14.6%、大学生は「松山市内」が85.2%、「松山市以外の愛媛県内」が13.2%、専修学校（専門学校）生は「松山市内」が81.5%、「松山市以外の愛媛県内」が17.8%となっている。

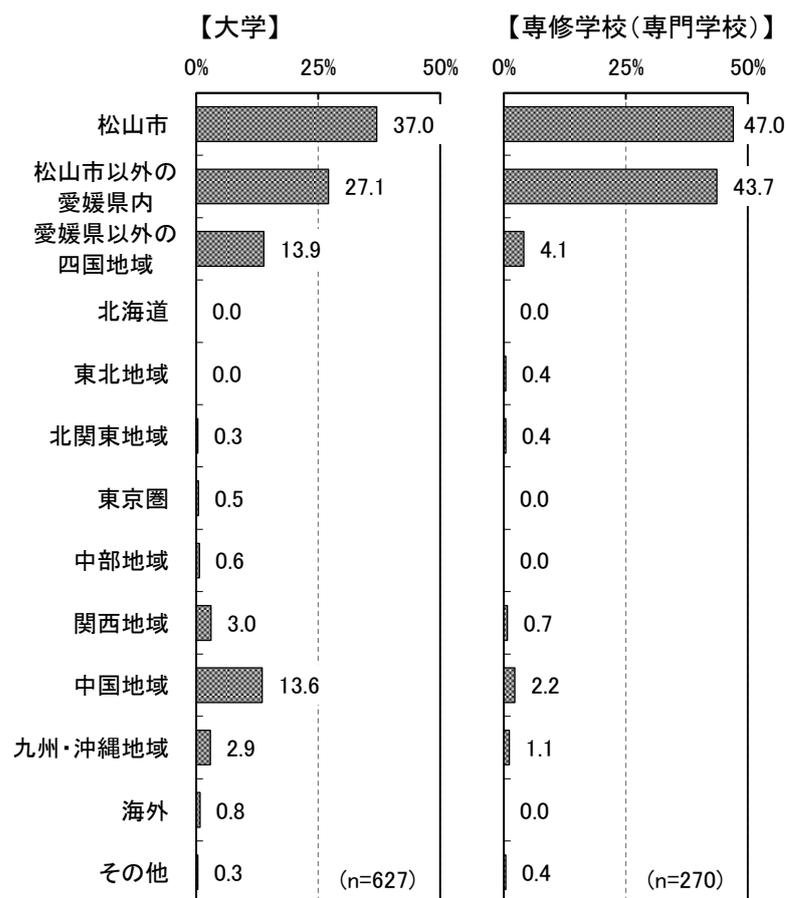
図表 II-2 居住地域



(3) 卒業した高校の所在地域(問4)

卒業した高校の所在地域は、大学生は「松山市」が37.0%、「松山市以外の愛媛県内」が27.1%、「愛媛県以外の四国地域」が13.9%、専修学校(専門学校)生は「松山市内」が47.0%、「松山市以外の愛媛県内」が43.7%、「愛媛県以外の四国地域」が4.1%となっている。

図表 II-3 卒業した高校の所在地域



■地域の範囲

- 北海道 : 北海道
- 東北地域 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
- 北関東地域 : 茨城県・栃木県・群馬県
- 東京圏 : 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
- 中部地域 : 新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
- 関西地域 : 三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
- 中国地域 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
- 九州・沖縄地域 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

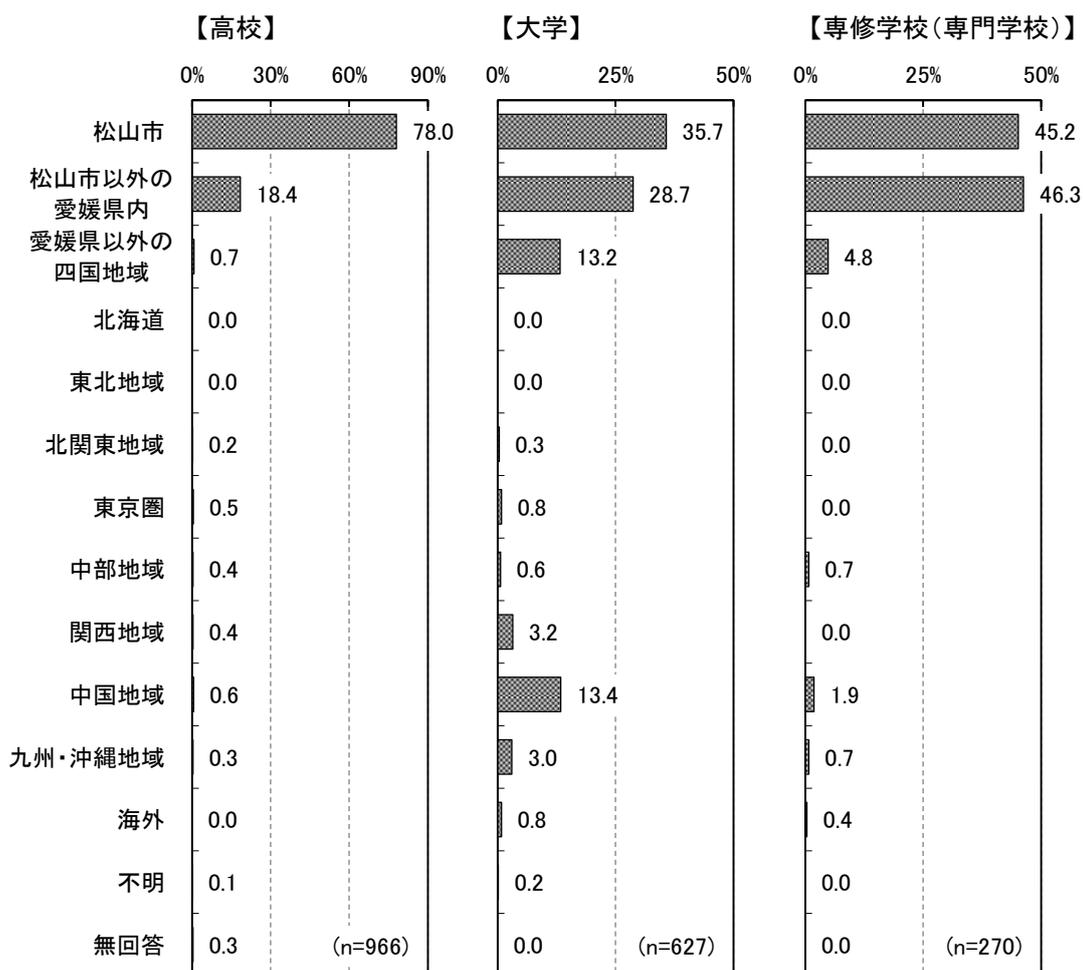
(4) 実家のある地域(問5)

実家のある地域は、高校生では「松山市」が圧倒的に高く 78.0%、次いで「松山市以外の愛媛県内」が 18.4%となっている。

大学生では、「松山市」が 35.7%、「松山市以外の愛媛県内」が 28.7%、「中国地域」が 13.4%である。

専修学校（専門学校）生では「松山市以外の愛媛県内」が最も高く 46.3%、次いで、「松山市」が 45.2%、「愛媛県以外の四国地域」が 4.8%となっている。

図表 II-4 実家のある地域



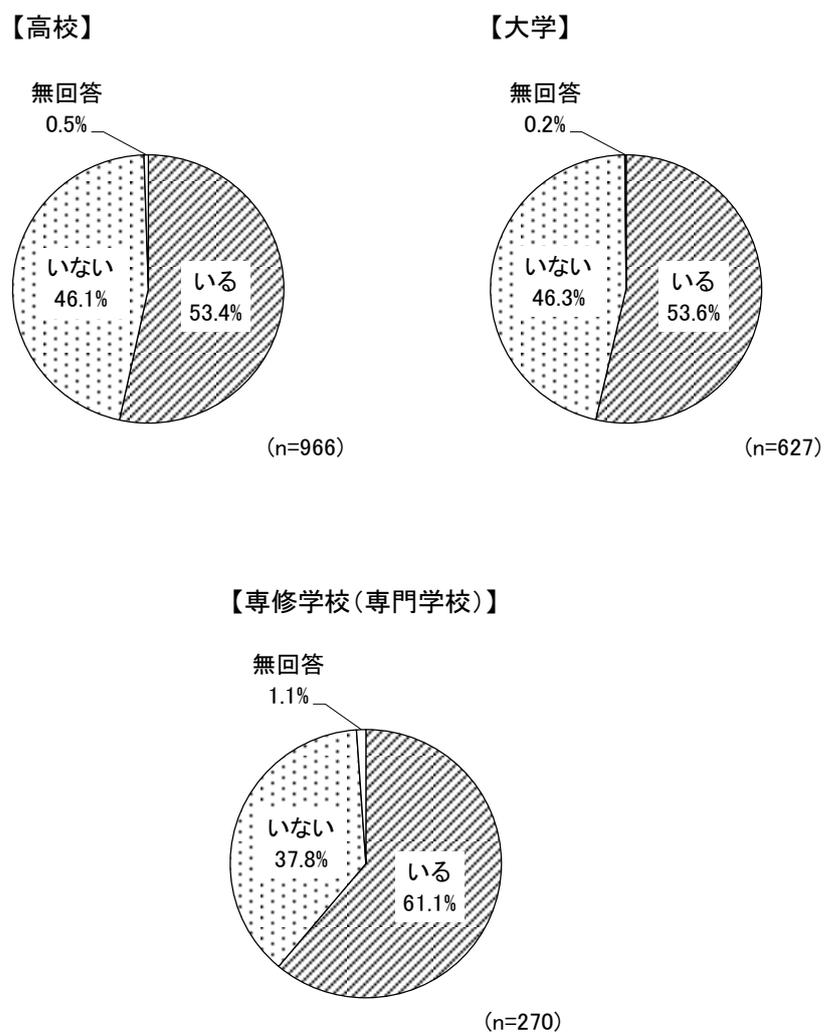
■地域の範囲

- 北海道 : 北海道
- 東北地域 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
- 北関東地域 : 茨城県・栃木県・群馬県
- 東京圏 : 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
- 中部地域 : 新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
- 関西地域 : 三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
- 中国地域 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
- 九州・沖縄地域 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

(5) 年上のきょうだいの有無(問6)

年上のきょうだいについては、どの学校でも「いる」が高く、高校生は「いる」が53.4% 「いない」が46.1%、大学生は「いる」が53.6% 「いない」が46.3%、専修学校（専門学校）生は「いる」が61.1% 「いない」が37.8%となっている。

図表 II-5 年上のきょうだいの有無



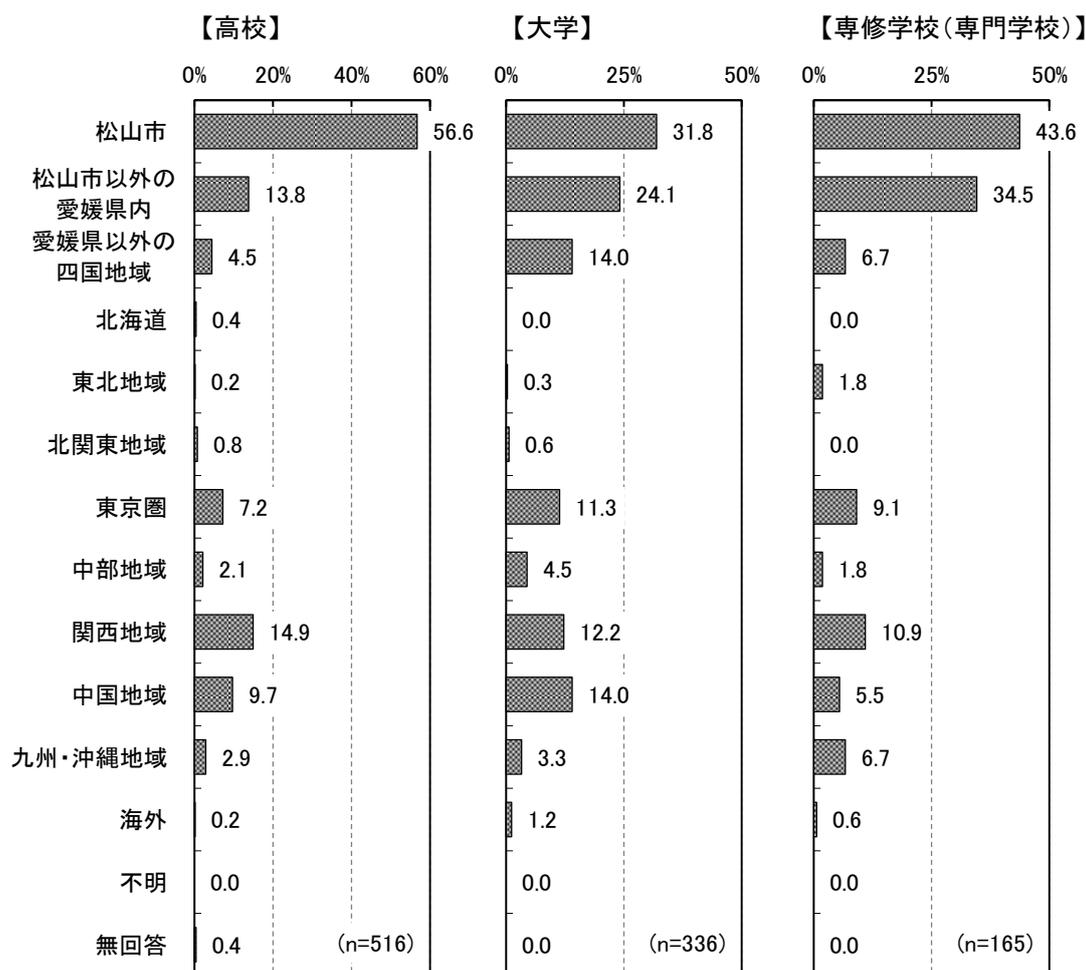
(6) 年上のきょうだいの居住地(問7)

年上のきょうだいの居住地は、高校生は「松山市」が 56.6%、「関西地域」が 14.9%、「松山市以外の愛媛県内」が 13.8%となっている。

大学生では「松山市」が 31.8%、「松山市以外の愛媛県内」が 24.1%、「愛媛県以外の四国地域」と「中国地域」がともに 14.0%である。

専修学校（専門学校）生では「松山市」が 43.6%、「松山市以外の愛媛県内」が 34.5%、「関西地域」が 10.9%となっている。

図表 II-6 年上のきょうだいの居住地



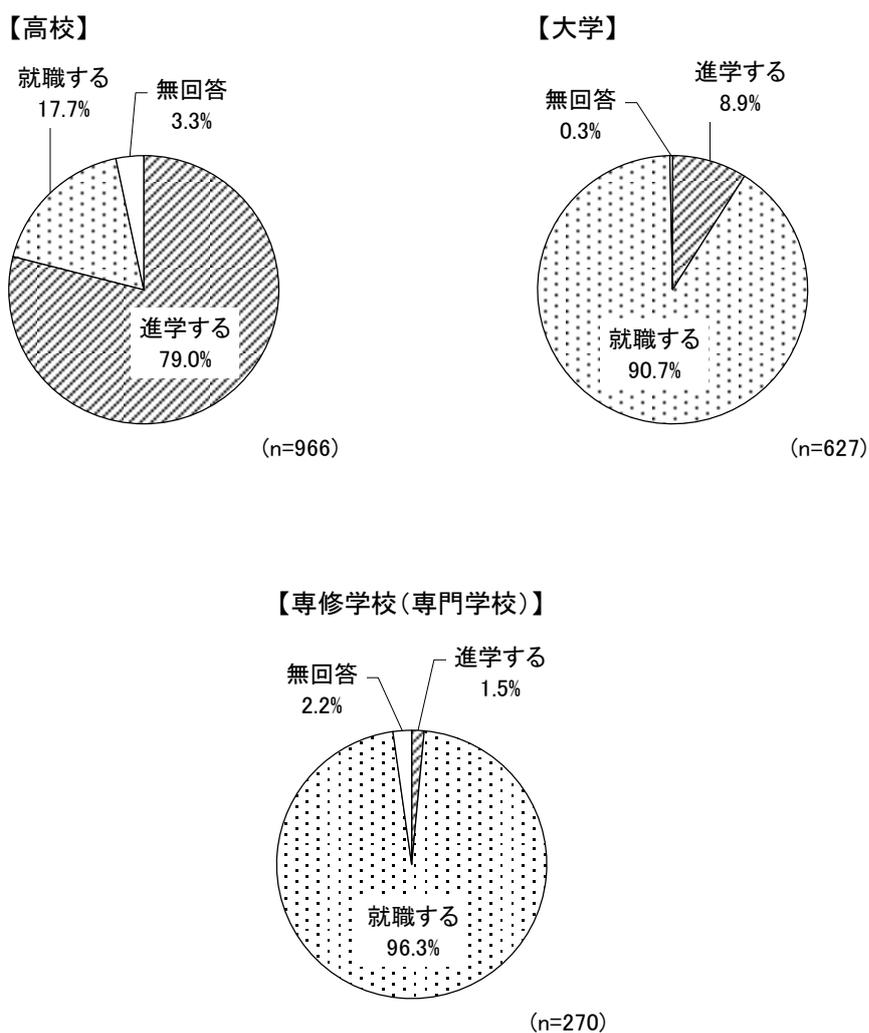
■地域の範囲

- 北海道 : 北海道
- 東北地域 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
- 北関東地域 : 茨城県・栃木県・群馬県
- 東京圏 : 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
- 中部地域 : 新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
- 関西地域 : 三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
- 中国地域 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
- 九州・沖縄地域 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

(7) 卒業後の進路の予定(問8)

高校卒業後の進路の予定については、高校生では「進学する」とする回答が高く 79.0%、「就職する」が 17.7%となっている。大学生、専修学校（専門学校）生では「就職する」が9割以上となっており、大学生は、「進学する」が 8.9%、「就職する」が 90.7%であり、専修学校（専門学校）生は、「進学する」が 1.5%、「就職する」が 96.3%となっている。

図表 II-7 卒業後の進路の予定



2. 進学予定者への質問

卒業後の進路（予定）について、専修学校（専門学校）生では「進学する」という回答は4件のみであった。よって本節では、専修学校（専門学校）生の回答は省略する。

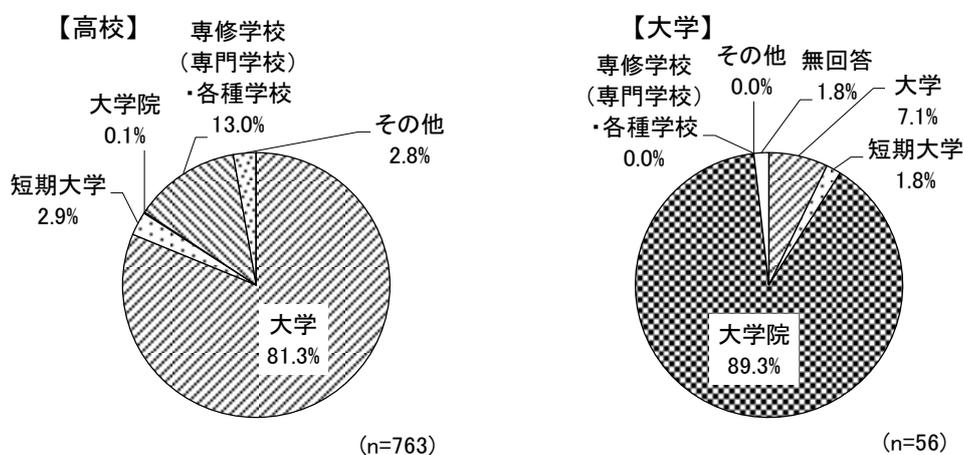
(1) 進学について

① 進学したい学校の種類（問9）

進学したい学校の種類については、高校生は「大学」が81.3%で最も高く、次いで「専修学校（専門学校）・各種学校」が13.0%、「短期大学」が2.9%となっている。

大学生では「大学院」が89.3%で最も高く、次いで「大学」が7.1%、「短期大学」が1.8%である。

図表 II-8 進学したい学校の種類

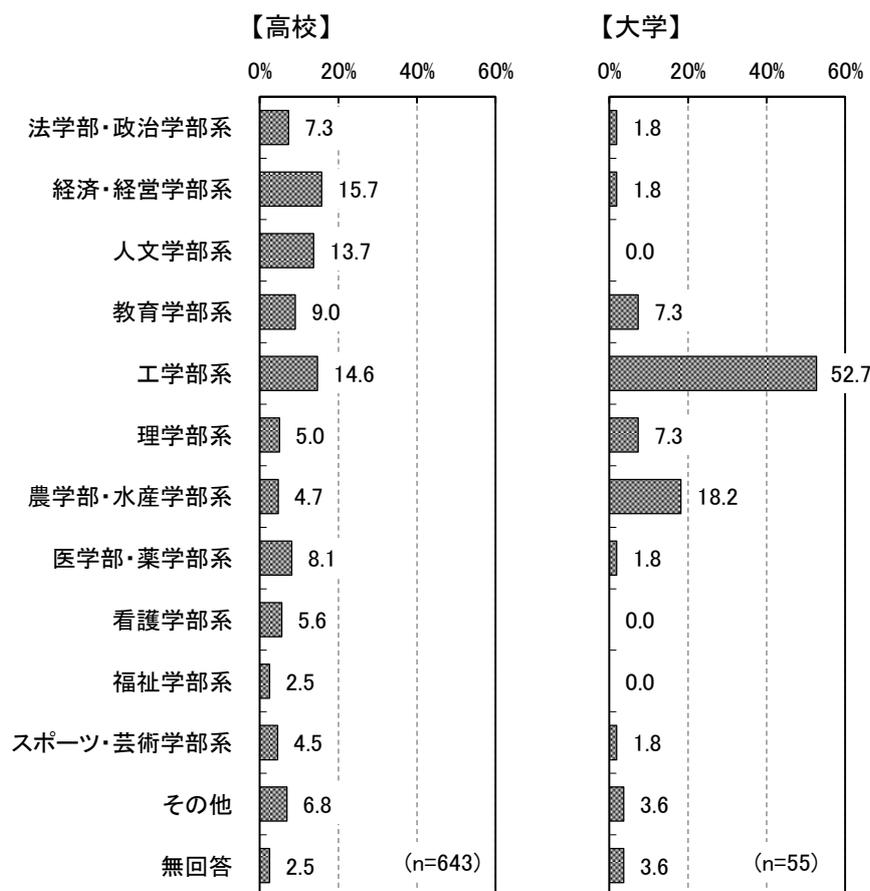


② 進学先で学びたい分野（問 10）

問 9 で「大学」、「短期大学」、「大学院」を選んだ回答者が、進学先で学びたい分野は、高校生は「経済・経営学部系」が 15.7% で最も高く、次いで「工学部系」が 14.6%、「人文学部系」が 13.7% となっている。大学生では「工学部系」が 52.7% で最も高く、次いで「農学部・水産学部系」が 18.2%、「教育学部系」、「理学部系」がそれぞれ 7.3% である。

男女別でみると、「工学部系」は「男性」の方が高くなっている。

図表 II-9 進学先(大学・短期大学・大学院)で学びたい分野



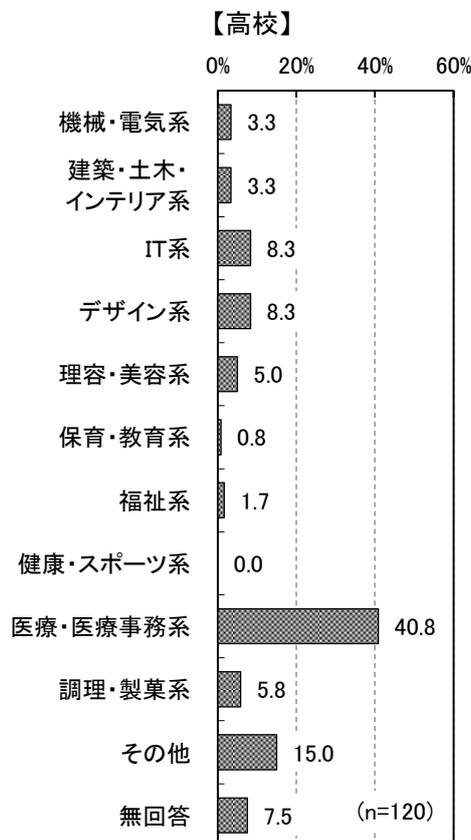
図表 II-10 進学先(専修学校(専門学校)・各種学校)で学びたい分野(属性別集計)

	調査数	法学部・政治学部系	経済・経営学部系	人文学部系	教育学部系	工学部系	理学部系	農学部・水産学部系	医学部・薬学部系	看護学部系	福祉学部系	スポーツ・芸術学部系	その他
全体	823 100.0	48 5.8	103 12.5	88 10.7	62 7.5	123 14.9	37 4.5	40 4.9	53 6.4	36 4.4	16 1.9	30 3.6	46 5.6
男性	420 100.0	29 6.9	61 14.5	26 6.2	19 4.5	111 26.4	26 6.2	28 6.7	26 6.2	3 0.7	5 1.2	12 2.9	16 3.8
女性	403 100.0	19 4.7	42 10.4	62 15.4	43 10.7	12 3.0	11 2.7	12 3.0	27 6.7	33 8.2	11 2.7	18 4.5	30 7.4

(注) 全体の割合より 10 ポイント以上高い値を**白抜字**、5 ポイント以上高い値を**灰色塗りつぶし**、5 ポイント以上低い値を**斜体字**としている。以下同様。

問9で「専修学校(専門学校)・各種学校」を選んだ回答者が、進学先で学びたい分野は、高校生は「医療・医療事務系」が40.8%で最も高く、次いで「IT系」が8.3%、「デザイン系」が8.3%となっている。

図表 II-11 進学先(専修学校(専門学校)・各種学校)で学びたい分野

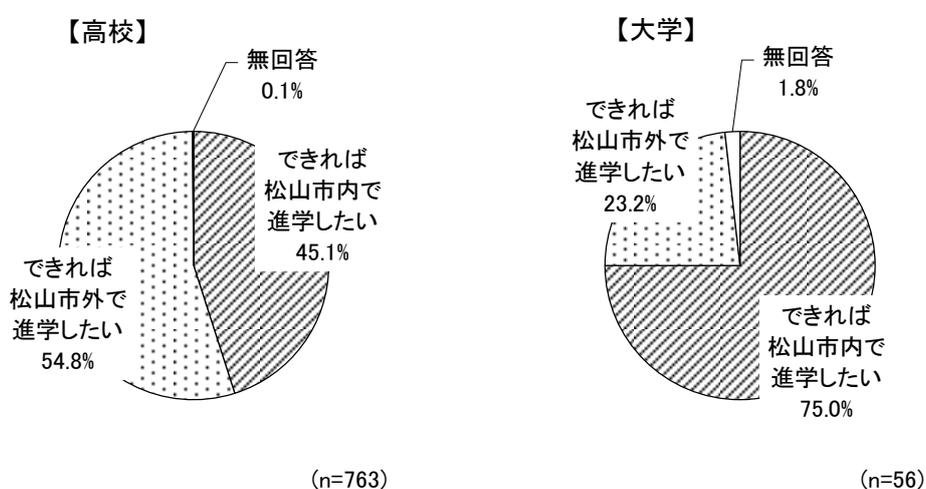


③ 松山市での進学意向（問 11）

松山市での進学意向については、高校生は「できれば松山市内で進学したい」が 45.1%、「できれば松山市外で進学したい」が 54.8%となっており、市外での進学を希望する回答者の割合が高くなっているが、大学生は「できれば松山市内で進学したい」が 75.0%、「できれば松山市外で進学したい」 23.2%と市内での進学を希望する回答者の割合が高い。

男女別にみると、「女性」の方が松山市内で進学を希望する回答者の割合が高くなっている。

図表 II-12 松山市での進学意向



図表 II-13 松山市での進学意向(属性別集計)

	調査数	進で 学 し れ ば 松 山 市 内 で	進で 学 し れ ば 松 山 市 外 で	無 回 答
全体	823	388	431	4
	100.0	47.1	52.4	0.5
男性	420	178	240	2
	100.0	42.4	57.1	0.5
女性	403	210	191	2
	100.0	52.1	47.4	0.5

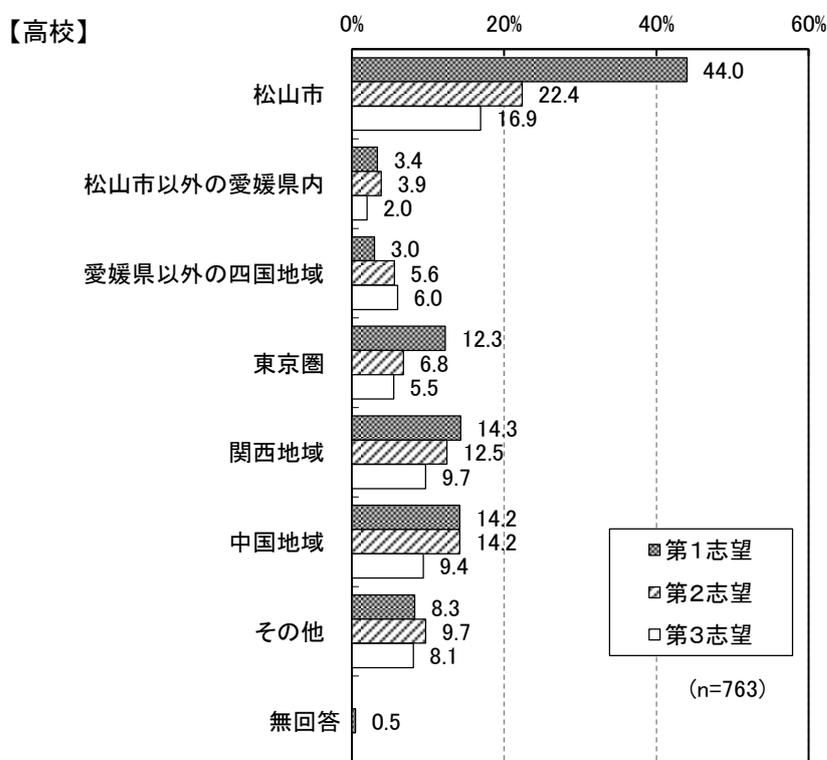
④ 進学を予定する学校について（問 12）

進学を予定する学校の所在地域は、高校生では第1志望、第2志望、第3志望ともに「松山市」（第1（44.0%）、第2（22.4%）、第3（16.9%））の割合が最も高く、次いで高いのは、第1志望では「関西地域」（14.3%）、第2志望では「中国地域」（14.2%）、第三志望では「関西地域」（9.7%）となっている。

大学生で最も高い割合の回答は、第1志望では「松山市」（76.8%）である。第2志望では「東京圏」（7.1%）、第3志望では「関西地域」（5.4%）である。

年上のきょうだいの居住地との対応をみると、年上のきょうだいが居住する地域を選択する回答者の割合が高くなっている。

図表 II-14 進学を予定する学校の所在地域（最大第3志望まで）



■地域の範囲

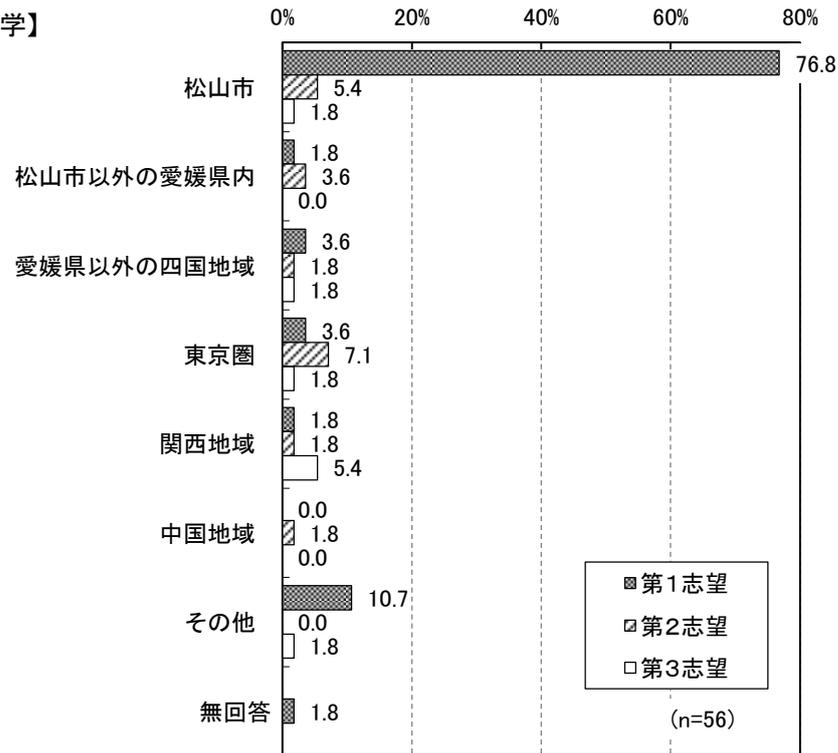
東京圏 : 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

関西地域 : 三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国地域 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

その他 : 北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県・海外

【大学】



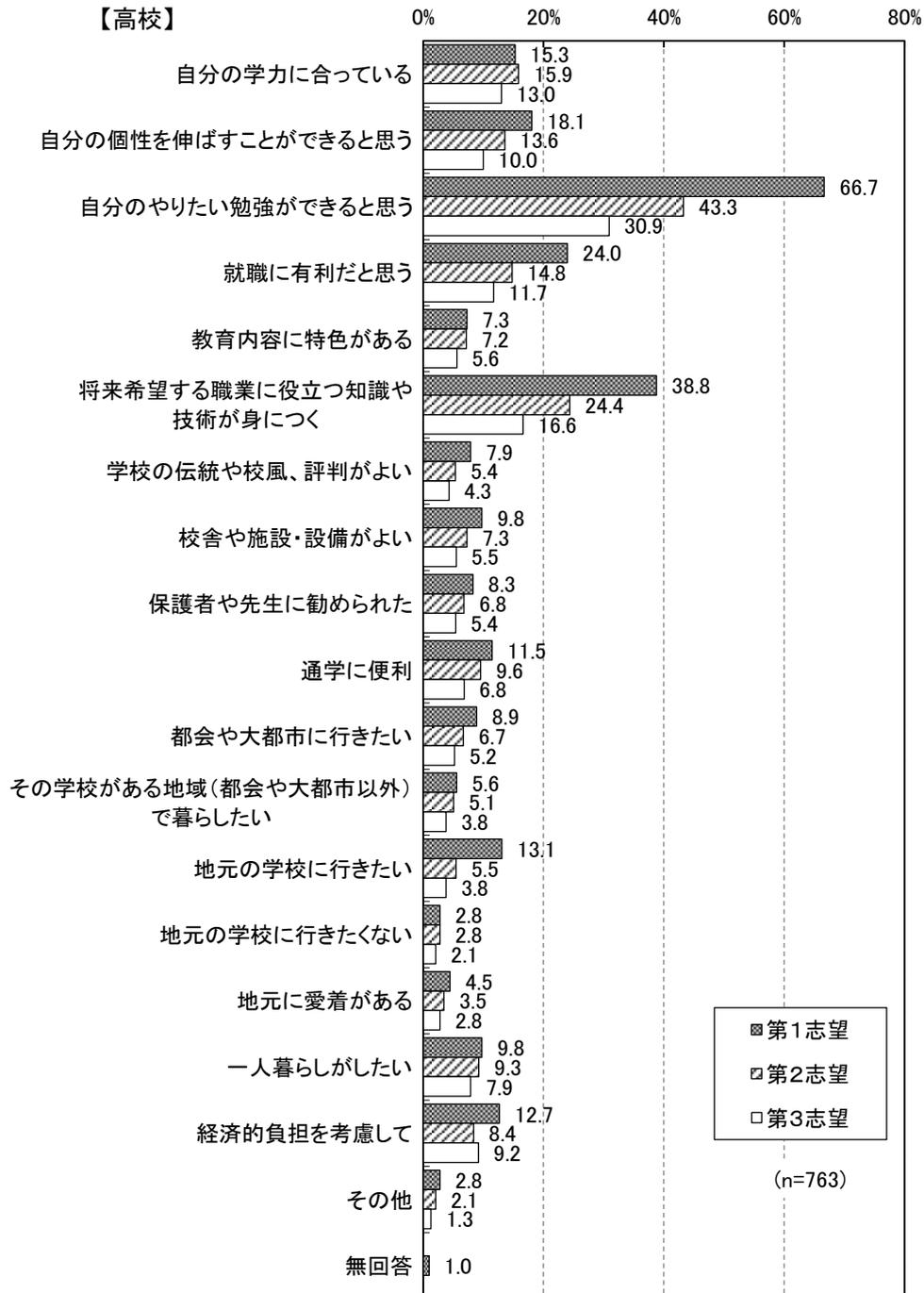
図表 II-15 進学を予定する学校の所在地(第1志望; 属性別集計)

		調査数	松山市	松山市以外の愛媛県内	愛媛県以外の四国地域	北海道	東北地域	北関東地域	東京圏	中部地域	関西地域	中国地域	九州・沖縄地域	海外	無回答
全体		823	381	27	25	5	3	10	96	13	110	108	36	2	7
		100.0	46.3	3.3	3.0	0.6	0.4	1.2	11.7	1.6	13.4	13.1	4.4	0.2	0.9
年上のきょうだいの居住地	松山市	209	114	4	9	2	1	3	18	3	25	20	7	0	3
		100.0	54.5	1.9	4.3	1.0	0.5	1.4	8.6	1.4	12.0	9.6	3.3	0.0	1.4
	松山市以外の愛媛県内	66	30	3	3	0	0	0	4	2	11	10	2	0	1
		100.0	45.5	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	6.1	3.0	16.7	15.2	3.0	0.0	1.5
	愛媛県以外の四国地域	18	7	1	4	0	0	0	2	0	3	1	0	0	0
		100.0	38.9	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0
	東京圏	37	14	0	0	2	0	0	16	0	2	2	0	0	1
		100.0	37.8	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	43.2	0.0	5.4	5.4	0.0	0.0	2.7
	関西地域	68	18	1	0	0	0	2	11	2	18	12	4	0	0
		100.0	26.5	1.5	0.0	0.0	0.0	2.9	16.2	2.9	26.5	17.6	5.9	0.0	0.0
中国地域	52	20	0	3	0	0	1	7	2	5	12	1	0	1	
	100.0	38.5	0.0	5.8	0.0	0.0	1.9	13.5	3.8	9.6	23.1	1.9	0.0	1.9	
九州・沖縄地域	13	5	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	0	0	
	100.0	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1	23.1	0.0	0.0	
その他地域	12	3	1	2	0	1	0	1	0	3	0	0	1	0	
	100.0	25.0	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	
年上のきょうだいがいない	399	185	17	8	2	1	4	46	5	50	59	20	1	1	
	100.0	46.4	4.3	2.0	0.5	0.3	1.0	11.5	1.3	12.5	14.8	5.0	0.3	0.3	

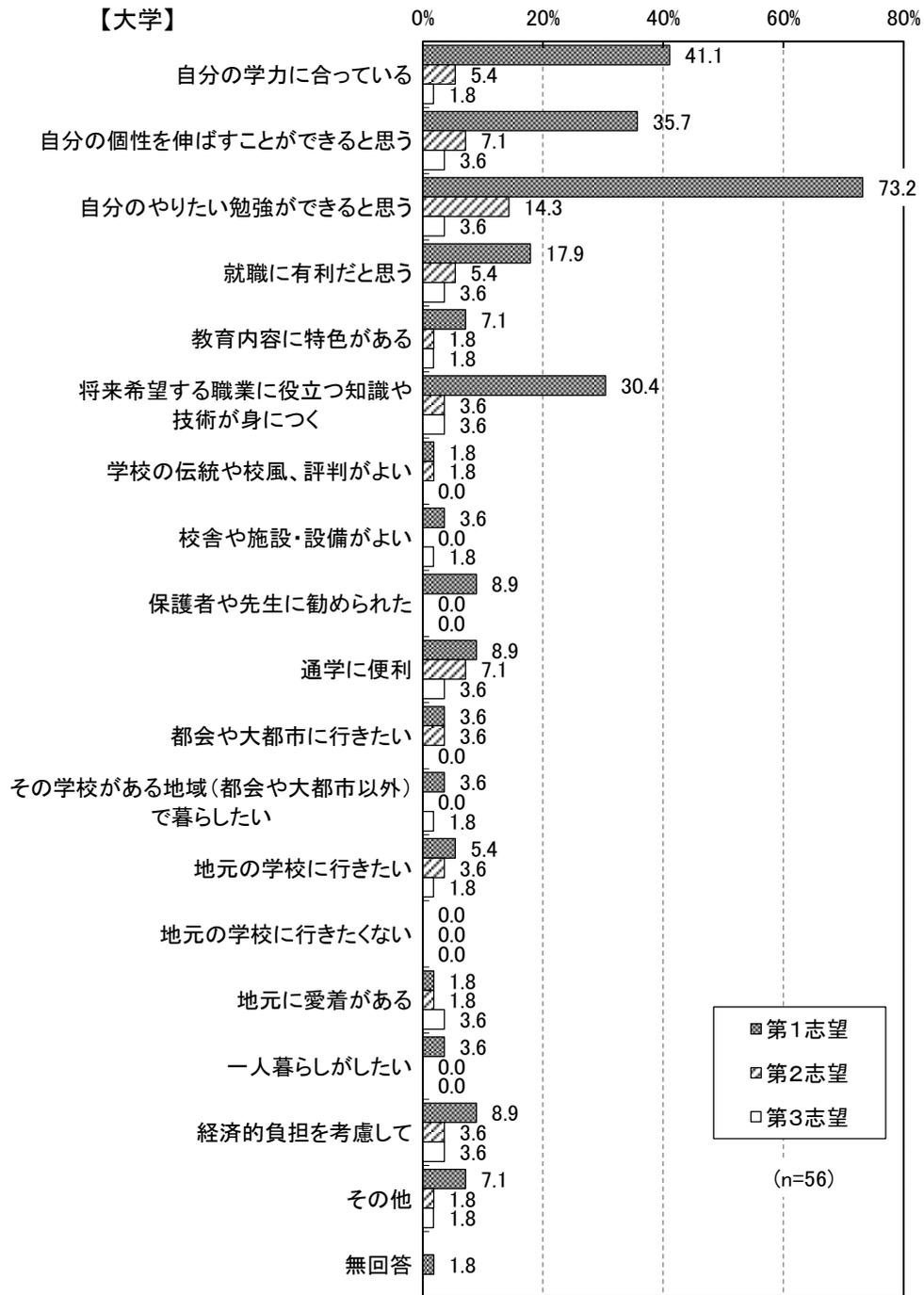
(注)年上のきょうだいの居住地は、調査数が10未満の地域は「その他地域」としてまとめた。

志望する学校への進学を予定する理由については、高校生では第1志望、第2志望、第3志望ともに「自分のやりたい勉強ができると思う」(第1 (66.7%)、第2 (43.3%)、第3 (30.9%))が最も高くなっており、大学生でも「自分のやりたい勉強ができると思う」(第1 (73.2%)、第2 (14.3%)、第3 (3.6%))が最も高くなっている。

図表 II-16 その学校を予定する理由(複数回答)



(注) 第一志望のみ必須回答。



(注) 第一志望のみ必須回答。

進学予定校の所在地域と、その学校への進学を予定する理由の関係をみると、「自分の学力に合っている」、「保護者や先生に勧められた」、「通学に便利」、「地元の学校に行きたい」、「地元に着がある」、「経済的負担を考慮して」という理由を選択した回答者は、「松山市」を選ぶ割合が全体に比べて高くなっている。一方、「学校の伝統や校風、評判がよい」、「校舎や施設・設備がよい」、「都会や大都市に行きたい」、「その学校がある地域で暮らしたい」、「地元の学校に行きたくない」、「一人暮らしがしたい」という理由を選択した回答者は「東京圏」、「関西圏」、「中国圏」を選ぶ割合が高い。また、学力水準や教育内容に関する志望理由は、第一志望校の所在地に大きく関係しないことが読み取れる。

図表 II-17 進学予定校の所在地域と、進学志望理由の関係(複数回答;第一志望)

	調査数	松山市	松山市以外の愛媛県内	愛媛県以外の四国地域	北海道	東北地域	北関東地域	東京圏	中部地域	関西地域	中国地域	九州・沖縄地域	海外	無回答
全体	823	381	27	25	5	3	10	96	13	110	108	36	2	7
	100.0	46.3	3.3	3.0	0.6	0.4	1.2	11.7	1.6	13.4	13.1	4.4	0.2	0.9
自分の学力に合っている	140	78	6	3	2	0	2	7	2	9	21	10	0	0
	100.0	55.7	4.3	2.1	1.4	0.0	1.4	5.0	1.4	6.4	15.0	7.1	0.0	0.0
自分の個性を伸ばすことができると思う	159	68	2	8	2	1	3	25	4	15	21	8	2	0
	100.0	42.8	1.3	5.0	1.3	0.6	1.9	15.7	2.5	9.4	13.2	5.0	1.3	0.0
自分のやりたい勉強ができると思う	551	241	23	21	0	3	9	65	9	75	77	26	2	0
	100.0	43.7	4.2	3.8	0.0	0.5	1.6	11.8	1.6	13.6	14.0	4.7	0.4	0.0
就職に有利だと思う	193	80	6	3	0	1	3	31	5	33	19	12	0	0
	100.0	41.5	3.1	1.6	0.0	0.5	1.6	16.1	2.6	17.1	9.8	6.2	0.0	0.0
教育内容に特色がある	60	20	2	4	0	0	1	7	2	10	11	3	0	0
	100.0	33.3	3.3	6.7	0.0	0.0	1.7	11.7	3.3	16.7	18.3	5.0	0.0	0.0
将来希望する職業に役立つ知識や技術が身につく	314	149	15	12	2	0	3	26	7	38	51	10	1	0
	100.0	47.5	4.8	3.8	0.6	0.0	1.0	8.3	2.2	12.1	16.2	3.2	0.3	0.0
学校の伝統や校風、評判がよい	61	13	1	3	0	0	0	13	1	13	14	3	0	0
	100.0	21.3	1.6	4.9	0.0	0.0	0.0	21.3	1.6	21.3	23.0	4.9	0.0	0.0
校舎や施設・設備がよい	77	19	2	2	0	1	1	9	3	18	15	7	0	0
	100.0	24.7	2.6	2.6	0.0	1.3	1.3	11.7	3.9	23.4	19.5	9.1	0.0	0.0
保護者や先生に勧められた	69	39	4	1	1	1	0	5	2	6	8	2	0	0
	100.0	56.5	5.8	1.4	1.4	1.4	0.0	7.2	2.9	8.7	11.6	2.9	0.0	0.0
通学に便利	93	81	3	1	1	0	0	3	1	0	2	1	0	0
	100.0	87.1	3.2	1.1	1.1	0.0	0.0	3.2	1.1	0.0	2.2	1.1	0.0	0.0
都会や大都市に行きたい	70	1	0	0	0	0	1	40	1	22	3	2	0	0
	100.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	57.1	1.4	31.4	4.3	2.9	0.0	0.0
その学校がある地域で暮らしたい	45	8	0	1	2	0	0	6	1	17	6	4	0	0
	100.0	17.8	0.0	2.2	4.4	0.0	0.0	13.3	2.2	37.8	13.3	8.9	0.0	0.0
地元の学校に行きたい	103	96	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	100.0	93.2	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0
地元の学校に行きたくない	21	1	0	1	1	0	0	3	0	8	5	2	0	0
	100.0	4.8	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	14.3	0.0	38.1	23.8	9.5	0.0	0.0
地元に着がある	35	31	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	100.0	88.6	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0
一人暮らしがしたい	77	4	0	1	1	0	2	16	0	21	27	5	0	0
	100.0	5.2	0.0	1.3	1.3	0.0	2.6	20.8	0.0	27.3	35.1	6.5	0.0	0.0
経済的負担を考慮して	102	85	6	2	0	0	2	2	0	1	3	1	0	0
	100.0	83.3	5.9	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	1.0	2.9	1.0	0.0	0.0
その他	25	8	0	2	0	0	0	3	0	4	5	2	1	0
	100.0	32.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	16.0	20.0	8.0	4.0	0.0

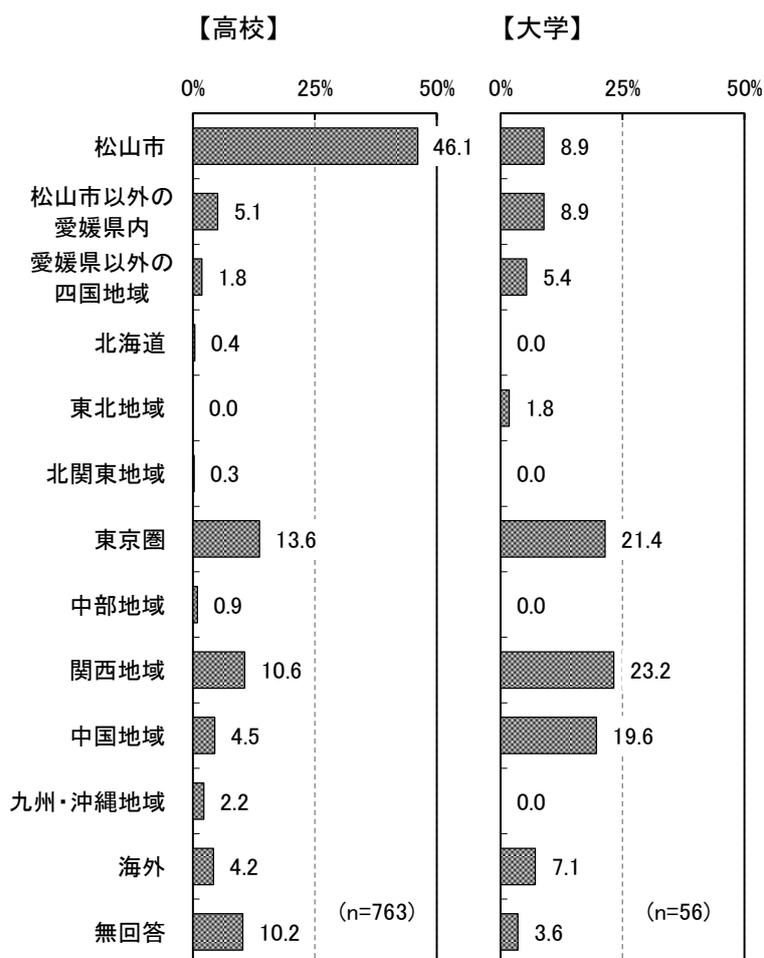
(注) 表側は無回答を除いた。

(2) 将来の就職について

① 将来就職したい地域（問 13）

将来就職したい地域については、高校生は「松山市」が46.1%で最も高く、次いで「東京圏」が13.6%、「関西地域」が10.6%となっている。大学生では「関西地域」が23.2%で最も高く、次いで「東京圏」が21.4%、「中国地域」が19.6%である。

図表 II-18 将来就職したい地域



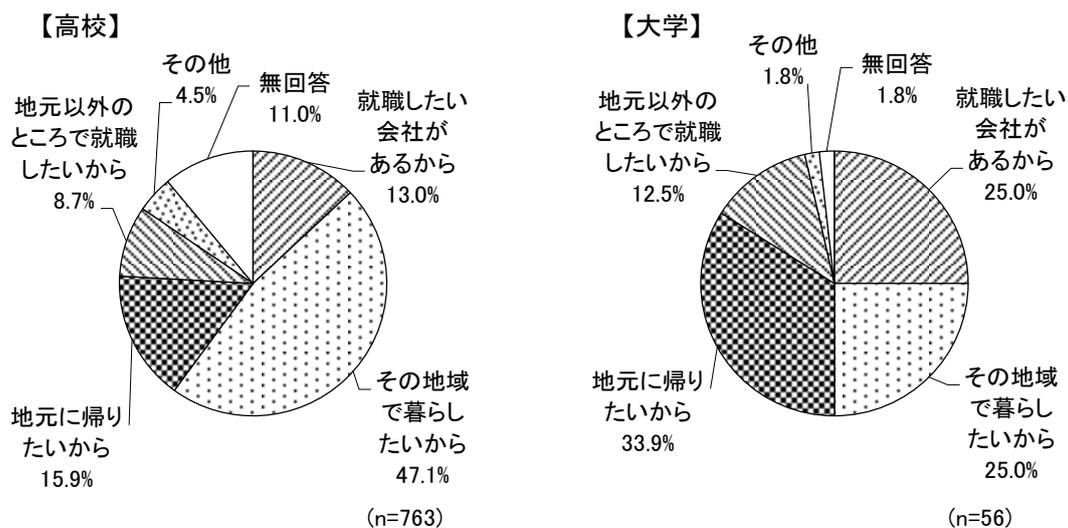
■地域の範囲

- 北海道 : 北海道
- 東北地域 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
- 北関東地域 : 茨城県・栃木県・群馬県
- 東京圏 : 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
- 中部地域 : 新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
- 関西地域 : 三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
- 中国地域 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
- 九州・沖縄地域 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

② 就職したい地域を選んだ最大の理由（問 14）

問 13 で選んだ地域での就職を希望する最大の理由は、高校生は「その地域で暮らしたいから」が 47.1%で最も高く、次いで「地元に戻りたいから」が 15.9%、「就職したい会社があるから」が 13.0%となっている。大学生は「地元に戻りたいから」が 33.9%で最も高く、次いで「就職したい会社があるから」、「その地域で暮らしたいから」がともに 25.0%となっている。

図表 II-19 就職したい地域を選んだ最大の理由



3. 就職予定者への質問

(1) 松山市での就職意向(問 15)

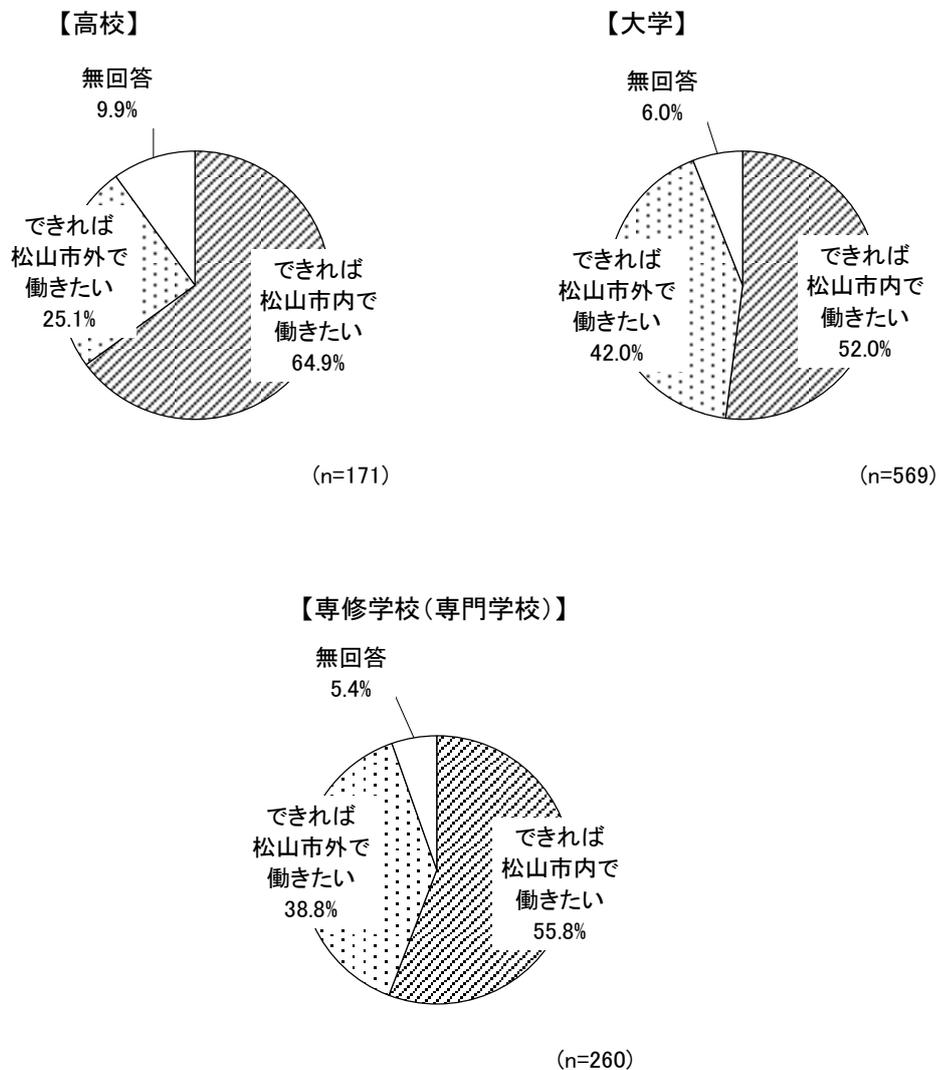
松山市での就職意向については、学校の種類によらず「できれば松山市内で働きたい」が最も高い。

高校生は「できれば松山市内で働きたい」が 64.9%で「できれば松山市外で働きたい」が 25.1%、大学生は「できれば松山市内で働きたい」が 52.0%で「できれば松山市外で働きたい」が 42.0%、専修学校(専門学校)生は「できれば松山市内で働きたい」が 55.8%で「できれば松山市外で働きたい」が 38.8%となっている。

男女別にみると、「男性」に比べて「女性」の松山市内で働く意向が高い。

年上のきょうだいの居住地との対応をみると、年上のきょうだいがある松山市内に居住する回答者は「できれば松山市内で働きたい」が高くなっている。

図表 II-20 松山市での就職意向



図表 II-21 松山市での就職意向(属性別集計)

		調査数	でき た き い れ ば 松 山 市 内 で 働	でき た き い れ ば 松 山 市 外 で 働	無 回 答
全体		1,000 100.0	552 55.2	383 38.3	65 6.5
性別	男性	509 100.0	254 49.9	219 43.0	36 7.1
	女性	490 100.0	298 60.8	163 33.3	29 5.9
年上の きょうだい の居住地	松山市	246 100.0	164 66.7	65 26.4	17 6.9
	松山市以外の愛媛県内	140 100.0	68 48.6	64 45.7	8 5.7
	愛媛県以外の四国地域	57 100.0	23 40.4	33 57.9	1 1.8
	東京圏	50 100.0	30 60.0	20 40.0	0 0.0
	中部地域	22 100.0	12 54.5	10 45.5	0 0.0
	関西地域	61 100.0	28 45.9	28 45.9	5 8.2
	中国地域	54 100.0	20 37.0	29 53.7	5 9.3
	九州・沖縄地域	23 100.0	11 47.8	12 52.2	0 0.0
	その他地域	11 100.0	6 54.5	5 45.5	0 0.0
	年上のきょうだいがいない	431 100.0	246 57.1	153 35.5	32 7.4

(注)年上のきょうだいの居住地は、調査数が10未満の地域は「その他地域」としてまとめた。

(2) 就職先を選ぶ際に考慮すること(問 16)

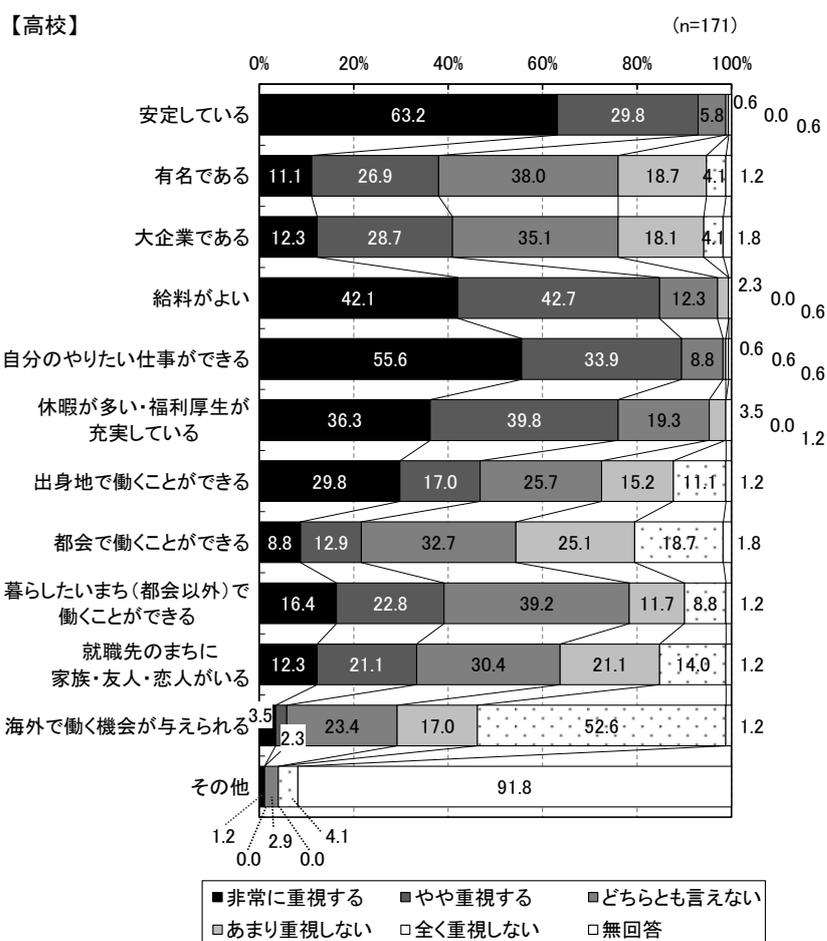
就職先を選ぶ際に考慮すること（「非常に重視する」と「やや重視する」の合計）は、どの学校も「安定している」が最も高くなっており、高校生では「安定している」が93.0%、次いで「自分のやりたい仕事ができる」が89.5%「給料がよい」が84.8%となっており、「非常に重視する」だけをみても「安定している」が63.2%で最も割合が高い。

大学生では「安定している」が89.8%、次いで「自分のやりたい仕事ができる」が85.2%「休暇が多い・福利厚生が充実している」が80.7%となっており、「非常に重視する」だけをみると「自分のやりたい仕事ができる」(44.8%)が最も割合が高い。

専修学校（専門学校）では「安定している」が93.5%、次いで「自分のやりたい仕事ができる」が89.6%「給料がよい」が84.2%となっており、「非常に重視する」だけをみても「安定している」が62.3%で最も割合が高い。

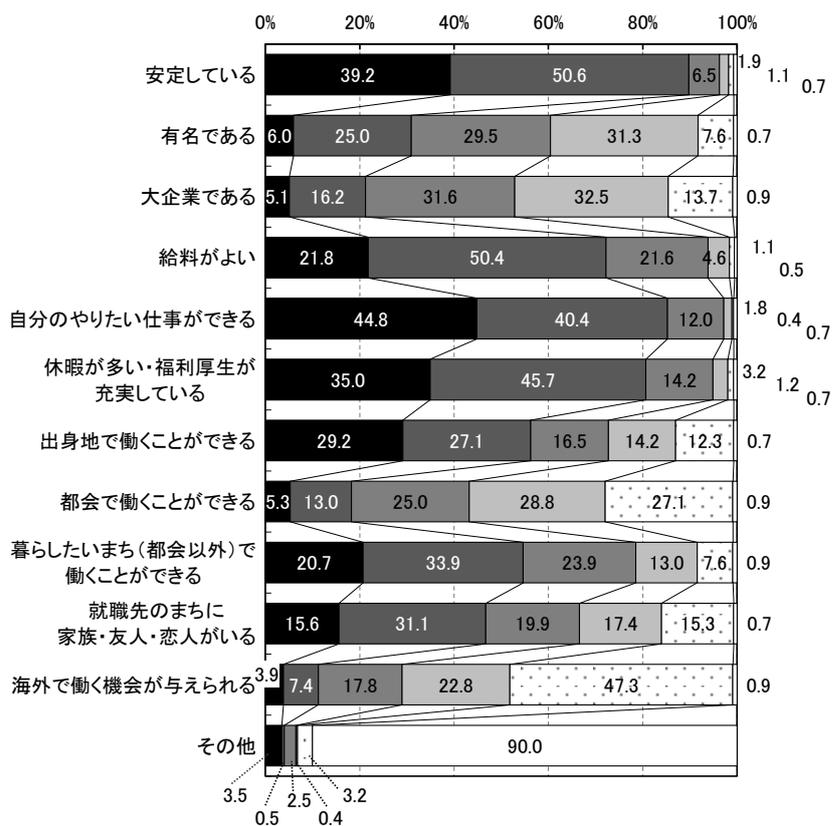
男女別にみると、「非常に重視する」と「やや重視する」の合計が、「男性」が10ポイント以上高い回答は「有名である」、「大企業である」であり、「女性」が10ポイント以上高い回答は「暮らしたいまち（都会以外）で働くことができる」、「就職先のまちに家族・友人・恋人がいる」となっている。

図表 II-22 就職先を選ぶ際に考慮すること



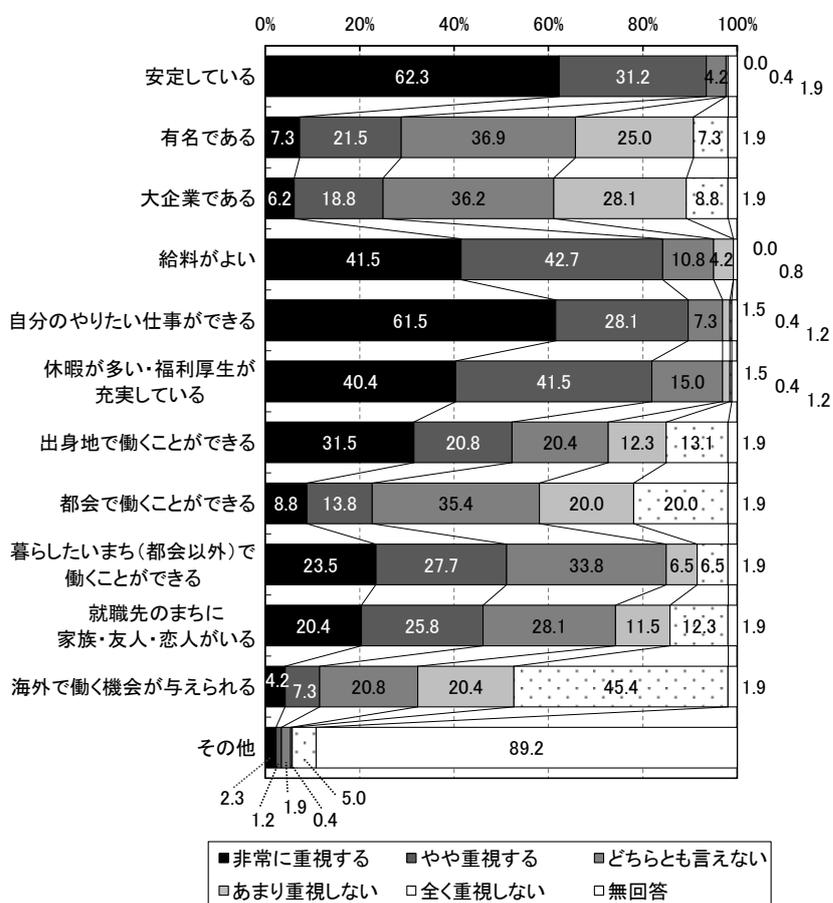
【大学】

(n=569)



【専修学校(専門学校)】

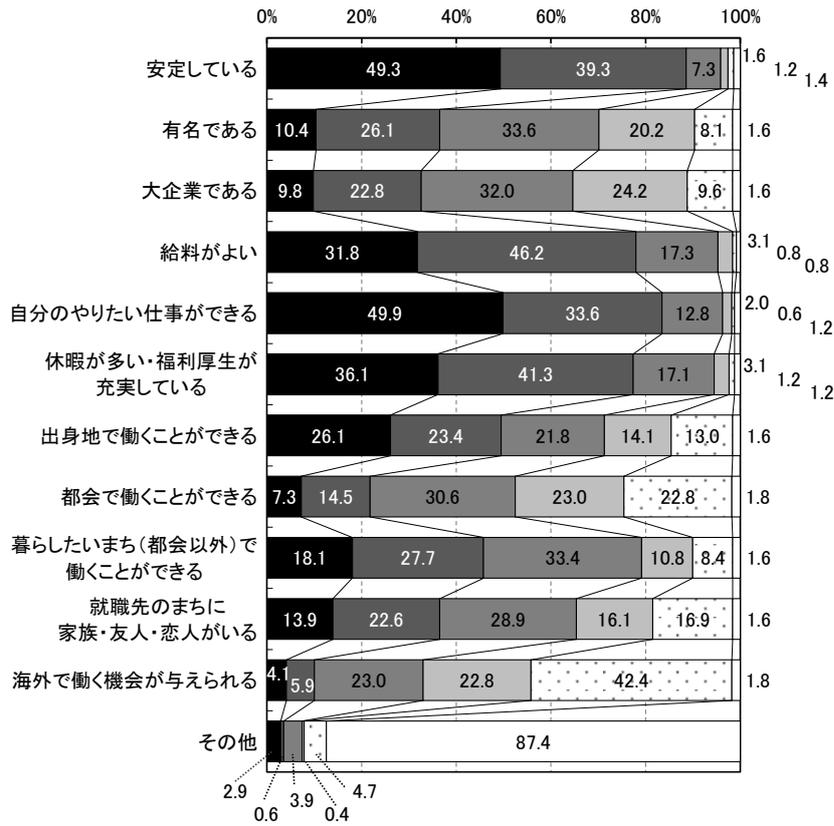
(n=260)



■非常に重視する ■やや重視する ■どちらとも言えない
 □あまり重視しない □全く重視しない □無回答

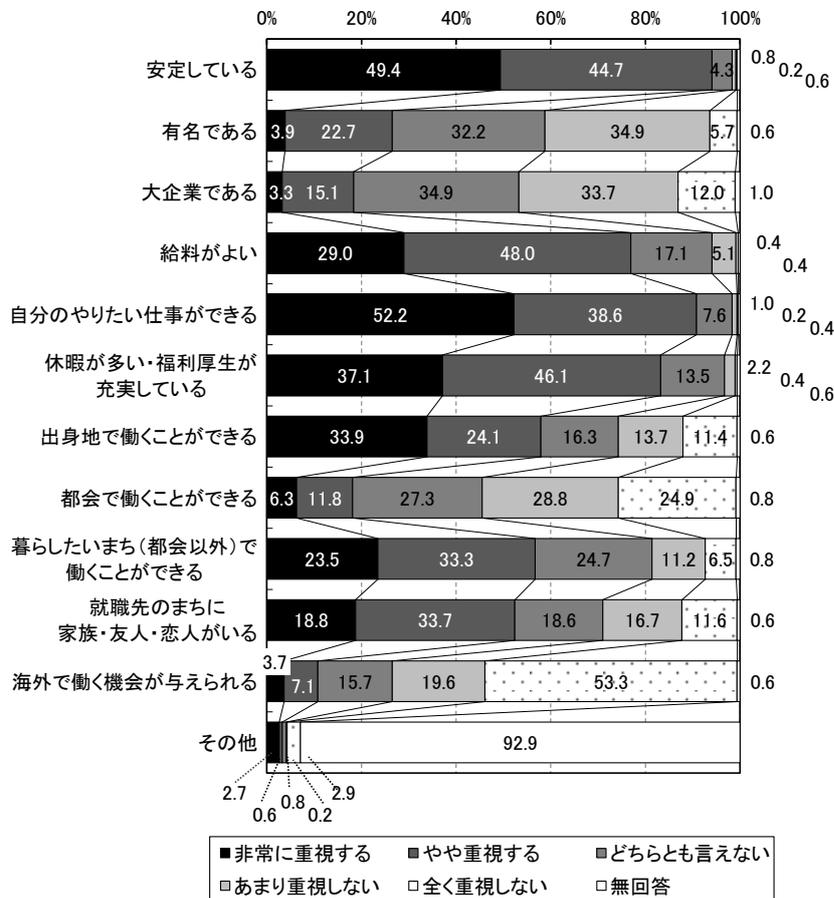
【男性】

(n=509)



【女性】

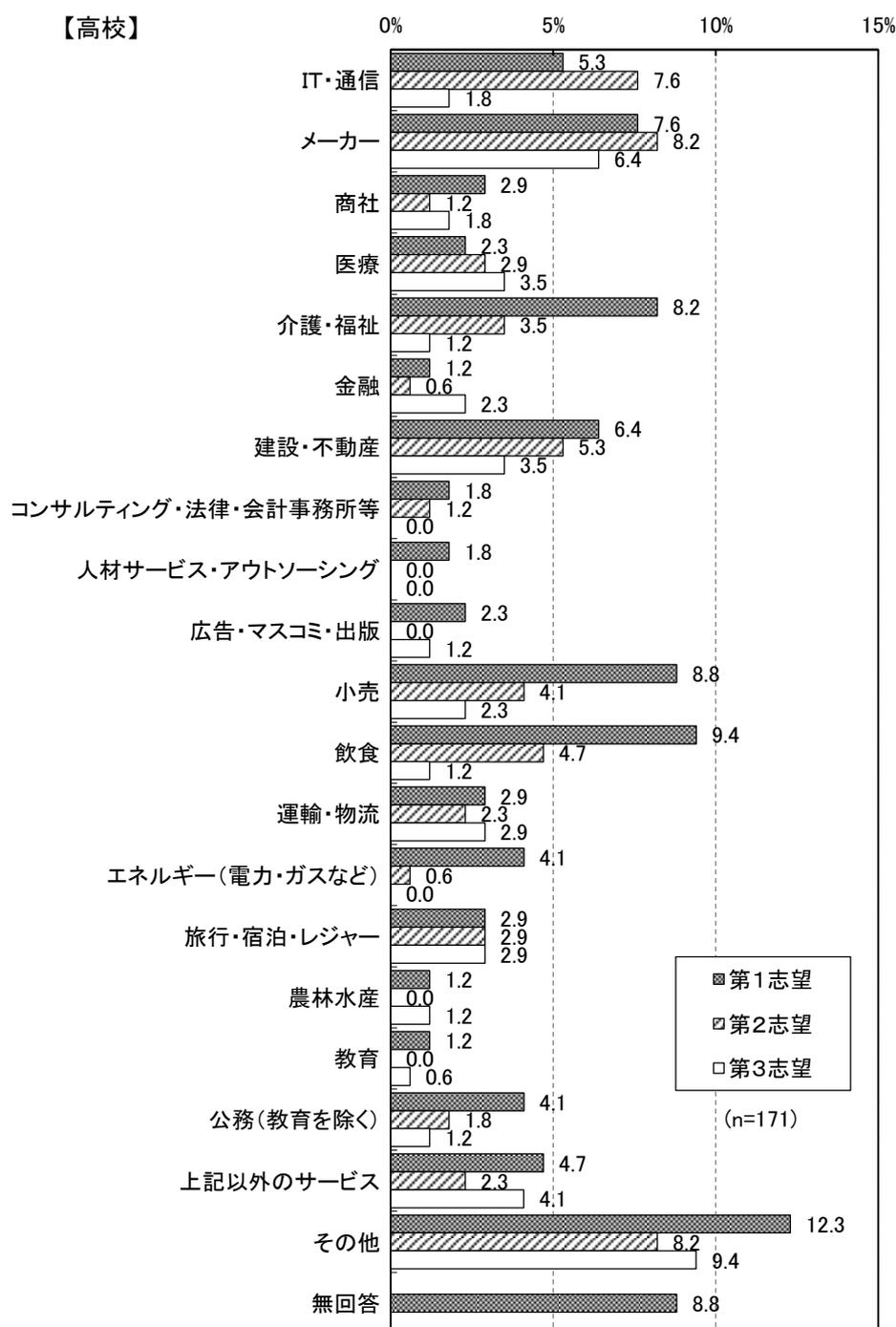
(n=490)



(3) 就職を予定する会社・団体について(問 17)

就職を予定する会社・団体について、業種は、高校生の第1志望では「その他」(12.3%)が最も高く、次いで「飲食」(9.4%)、「小売」(8.8%)である。第2志望については「メーカー」(8.2%)、「その他」(各8.2%)が最も高く、次いで「IT・通信」(7.6%)となっている。

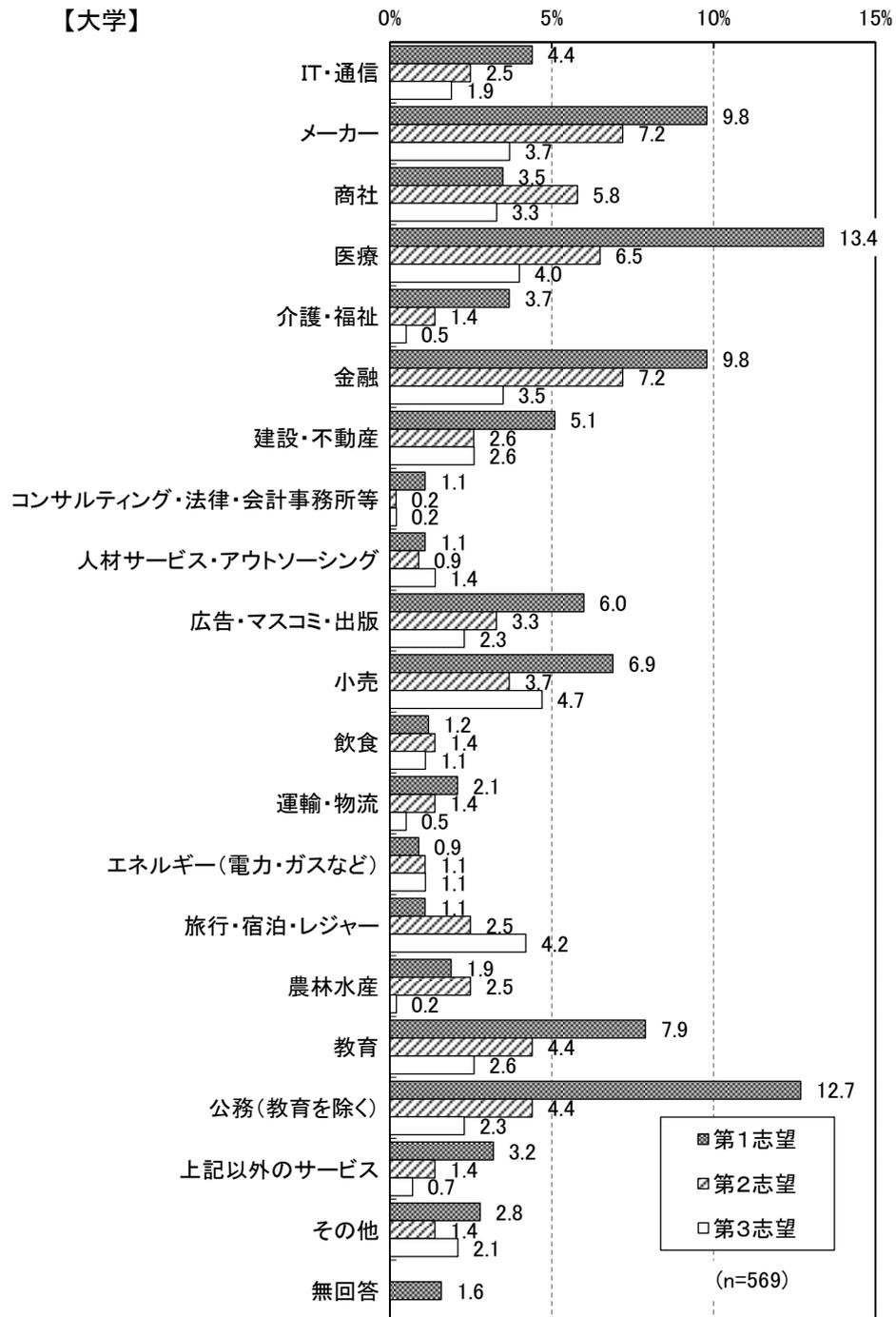
図表 II-23 就職を予定する会社・団体の業種



(注) 第一志望のみ必須回答。

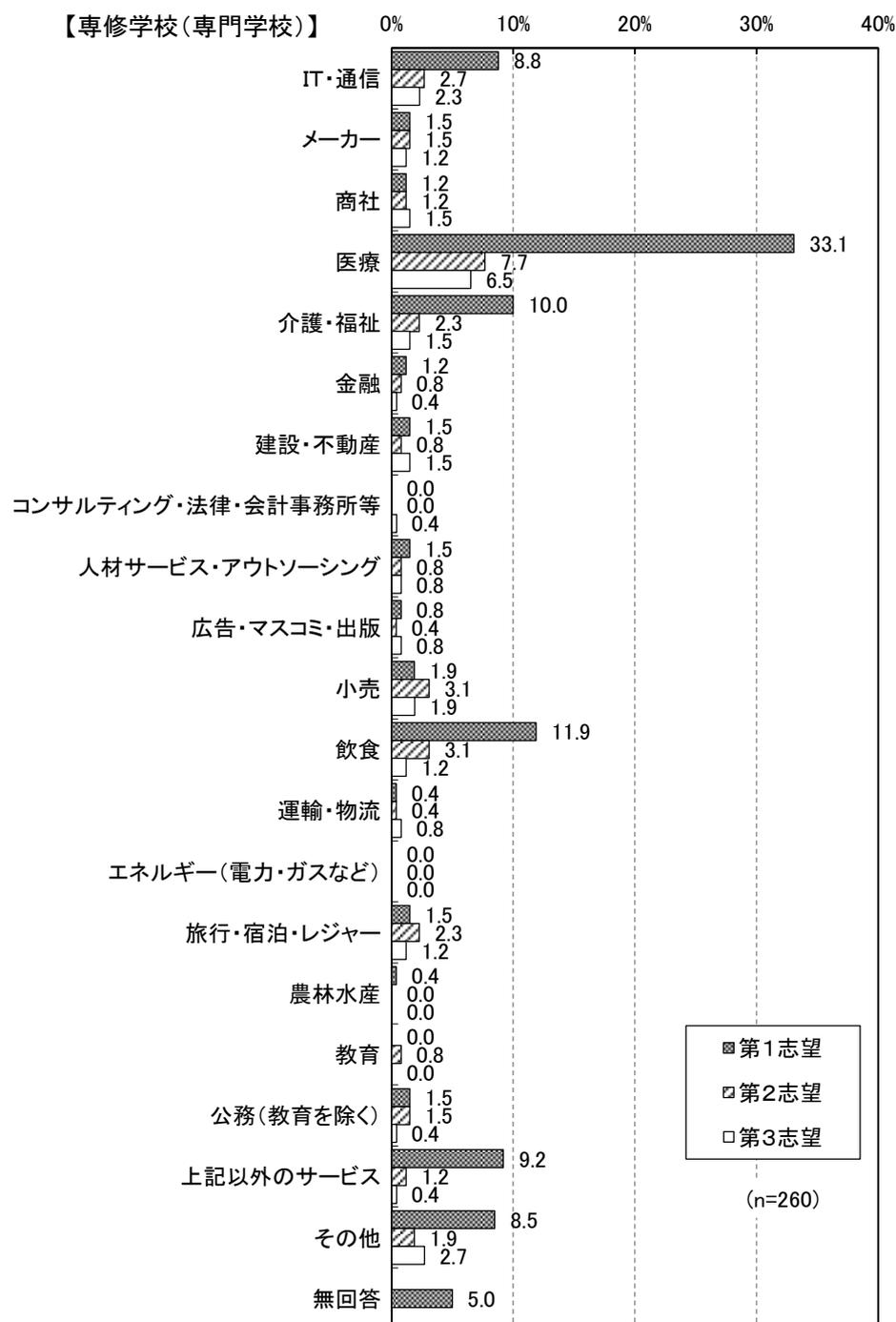
大学生の第1志望では、「医療」(13.4%)が最も高く、次いで「公務(教育を除く)」

(12.7%)、「メーカー」、「金融」(各 9.8%) となっている。第2志望では、「メーカー」、「金融」(各 7.2%) が最も高く、次いで「医療」(6.5%) となっている。



(注) 第一志望のみ必須回答。

専修学校（専門学校）生の第1志望では、「医療」（33.1%）が最も高く、次いで「飲食」（11.9%）、「介護・福祉」（10.0%）となっている。



(注) 第一志望のみ必須回答。

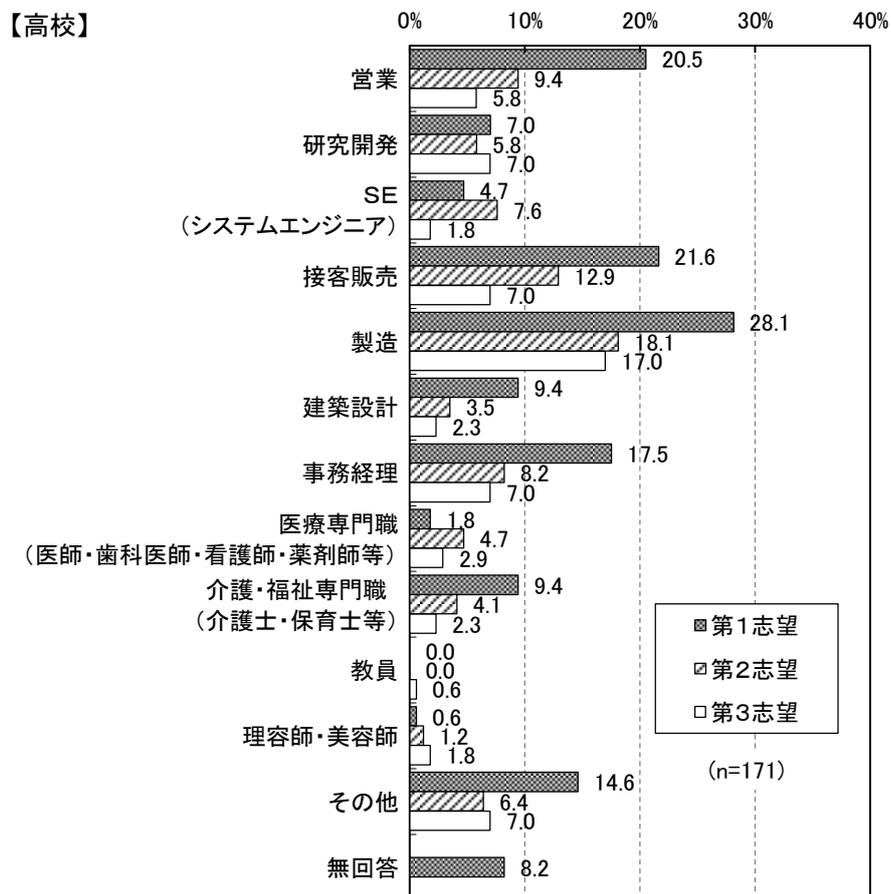
就職を予定する会社・団体に就きたい職種については、高校生の第1志望では「製造」(28.1%)が最も高く、次いで「接客販売」(21.6%)、「営業」(20.5%)である。第2志望についても「製造」(18.1%)が最も高く、次いで「接客販売」(12.9%)、「営業」(9.4%)となっている。

大学生については、第1志望、第2志望、第3志望ともに「営業」(第1(38.0%)、第2(28.5%)、第3(20.6%))が最も高く、次いで「事務経理」(第1(29.3%)、第2(20.0%)、第3(13.2%))となっている。ただし、第3志望については半数以上が回答をしていない。

専修学校(専門学校)生の第1志望では「医療専門職(医師・歯科医師・看護師・薬剤師等)」(26.9%)が最も高く、次いで「接客販売」(14.2%)、「事務経理」(13.5%)である。

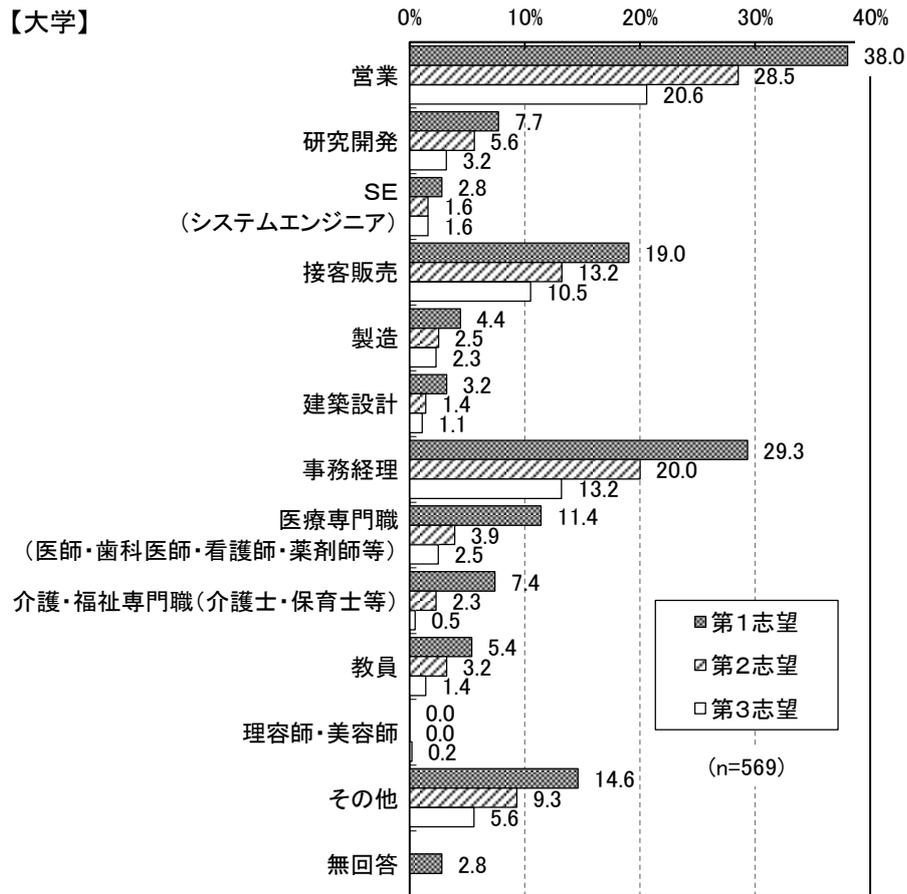
男女別にみると、「男性」に比べて「女性」では「営業」は少なく、「事務経理」は多い。

図表 II-24 就職を予定する会社・団体に就きたい職種(複数回答)

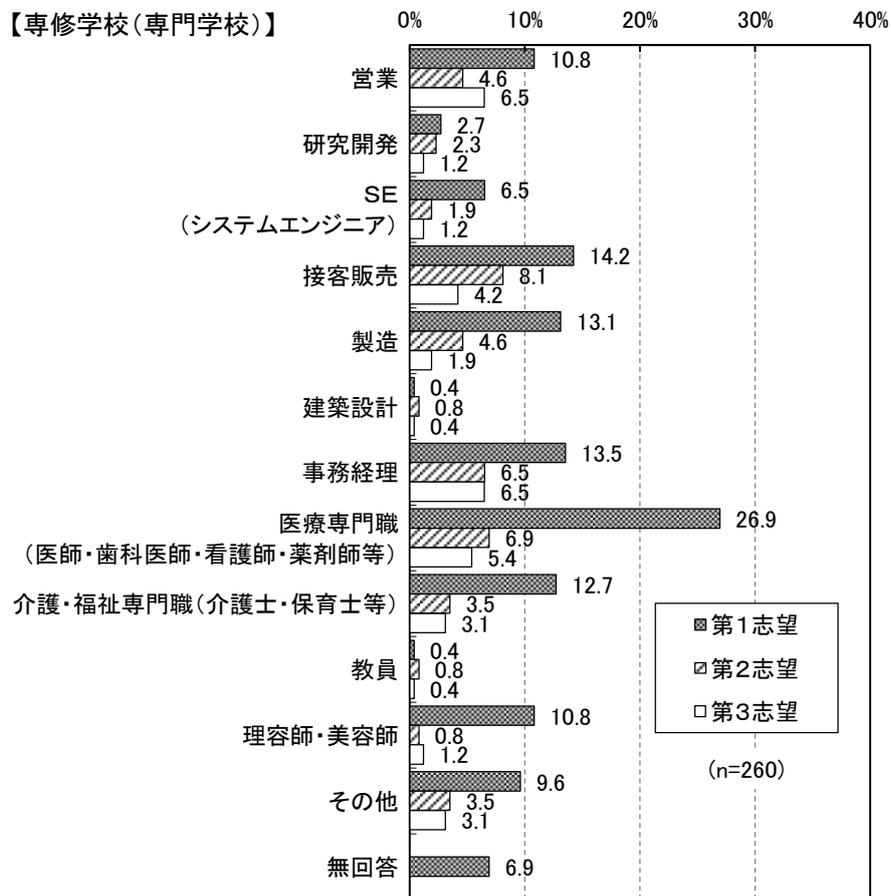


(注) 第一志望のみ必須回答。

【大学】



【専修学校(専門学校)】



(注)第一志望のみ必須回答。

図表 II-25 就職を予定する会社・団体に就きたい職種(複数回答;第一希望;属性別集計)

	調査数	営業	研究開発	S E	接客販売	製造	建築設計	事務経理	医療専門職	介護・福祉専門職	教員	理容師・美容師	その他	無回答
全体	1,000 100.0	279 27.9	63 6.3	41 4.1	182 18.2	107 10.7	35 3.5	232 23.2	138 13.8	91 9.1	32 3.2	29 2.9	133 13.3	48 4.8
男性	509 100.0	167 32.8	45 8.8	31 6.1	72 14.1	77 15.1	31 6.1	74 14.5	63 12.4	28 5.5	8 1.6	15 2.9	80 15.7	32 6.3
女性	490 100.0	112 22.9	18 3.7	10 2.0	110 22.4	30 6.1	4 0.8	158 32.2	75 15.3	63 12.9	24 4.9	14 2.9	53 10.8	15 3.1

就職を予定する会社・団体の本社所在地については、高校生の第1志望では「愛媛県」(57.9%)が最も高く、次いで「東京圏」(7.6%)、「関西地域」、「その他」(各4.7%)となっている。

大学生は、第1志望では「愛媛県」(52.2%)が最も高く、次いで「東京圏」(12.7%)、「愛媛県以外の四国地域」(10.2%)である。第2志望でも「愛媛県」(35.0%)が最も高く、次いで「東京圏」(8.1%)、「愛媛県以外の四国地域」、「中国地域」(各4.9%)となっている。第3志望については約6割が回答をしていない。

専修学校(専門学校)生の第1志望でも「愛媛県」(63.8%)が最も高く、次いで「東京圏」(9.2%)、「関西地域」(7.3%)となっている。

年上のきょうだいの居住地との対応をみると、年上のきょうだいが愛媛県内に居住する回答者は、「愛媛県」を選ぶ割合が高い。愛媛県以外についても、年上のきょうだいの居住地と、就職を予定する会社・団体の本社所在地には関係があることが見て取れる。

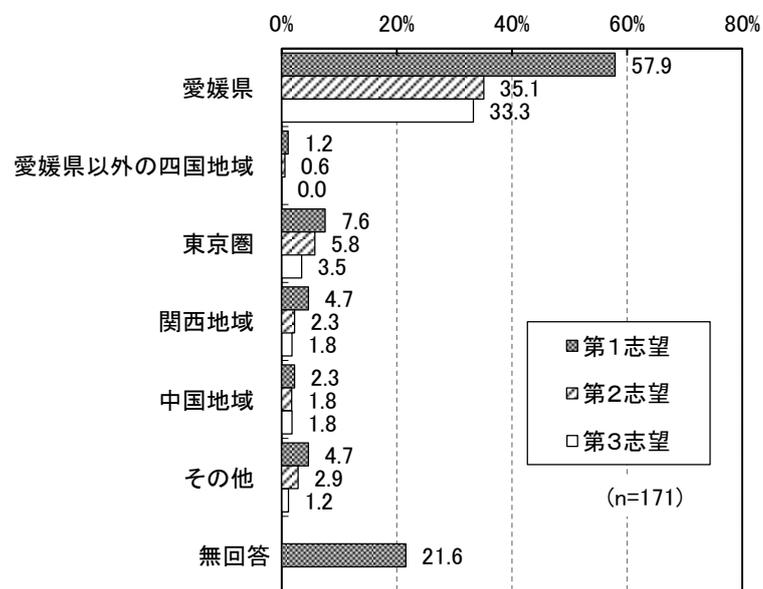
予定する業種・職種の組み合わせごとにとみると、全体に比べて「愛媛県」以外で割合が高いのは以下のような業種・職種であった。

- IT・通信 … 営業、研究開発、SE(東京圏)
- メーカー … 営業、研究開発、製造(中国地域)、事務経理(関西地域)
- 金融 … 営業、接客販売(愛媛県以外の四国地域)
- 建設・不動産 … 営業(愛媛県以外の四国地域)、建築設計(東京圏、関西地域)
- コンサルティング・法律・会計事務所等 … (東京圏、中部圏)
- 人材サービス・アウトソーシング … (関西地域、中国地域、九州・沖縄地域)
- 小売 … 接客販売、事務経理(東京圏)
- 運輸・物流 … (愛媛県以外の四国地域、東京圏、関西地域)
- エネルギー … (東京圏、中部地域)
- 旅行・宿泊・レジャー … 接客販売(東京圏、中国地域)
- 農林水産 … (九州・沖縄地域)

- 教育 … 教員（九州・沖縄地域）
- 公務 … 事務経理（愛媛県以外の四国地域）、その他（愛媛県以外の四国地域、中国地域）
- 上記以外のサービス … 営業（愛媛県以外の四国地域）、接客販売（愛媛県以外の四国地域、関西地域、九州・沖縄地域）、理容師・美容師（東京圏、関西地域）、その他（愛媛県以外の四国地域）
- その他 … 製造（中部地域）、理容師・美容師（関西地域）

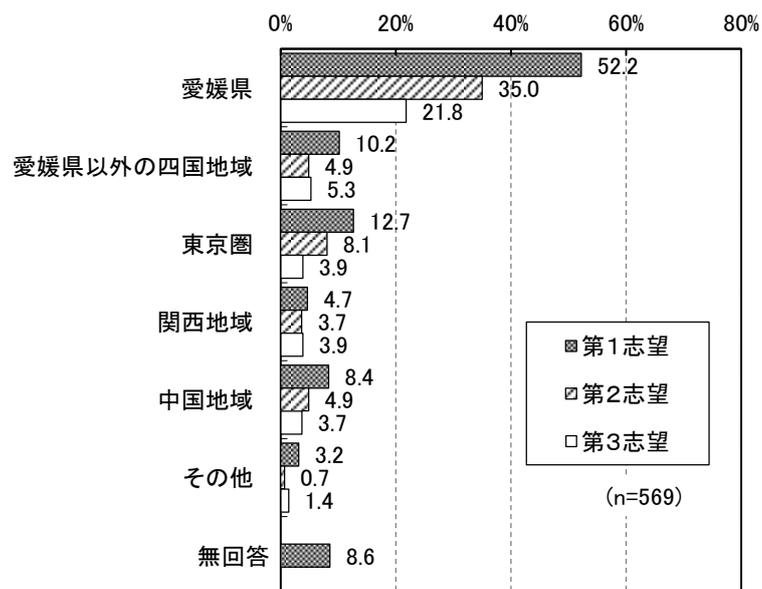
図表 II-26 就職を予定する会社・団体の本社所在地

【高校】



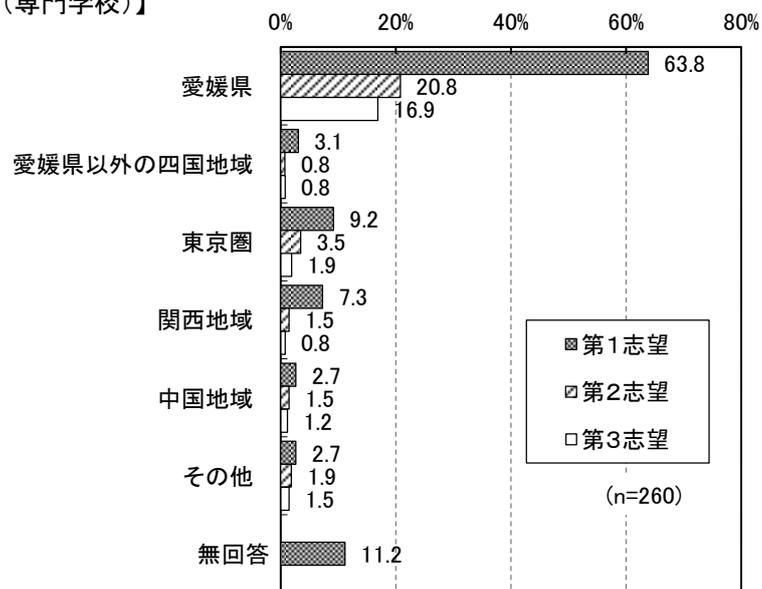
(注) 第一志望のみ必須回答。

【大学】



(注) 第一志望のみ必須回答。

【専修学校(専門学校)】



(注) 第一志望のみ必須回答。

図表 II-27 就職を予定する会社・団体の本社所在地(第1志望;属性別集計)

		調査数	愛媛県	愛媛県以外の四国地域	北海道	東北地域	北関東地域	東京圏	中部地域	関西地域	中国地域	九州・沖縄地域	海外	無回答	
全体		1,000 100.0	562 56.2	68 6.8	1 0.1	0 0.0	3 0.3	109 10.9	18 1.8	54 5.4	59 5.9	11 1.1	0 0.0	115 11.5	
年上の きょうだい の居住地	松山市	246 100.0	164 66.7	5 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	29 11.8	1 0.4	9 3.7	7 2.8	1 0.4	0 0.0	30 12.2	
	松山市以外の愛媛県内	140 100.0	96 68.6	4 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 10.7	2 1.4	6 4.3	2 1.4	1 0.7	0 0.0	14 10.0	
	愛媛県以外の四国地域	57 100.0	23 40.4	25 43.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.3	0 0.0	0 0.0	3 5.3	0 0.0	0 0.0	3 5.3	
	東京圏	50 100.0	27 54.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	8 16.0	1 2.0	1 2.0	6 12.0	1 2.0	0 0.0	4 8.0	
	中部地域	22 100.0	10 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 13.6	3 13.6	1 4.5	3 13.6	0 0.0	0 0.0	2 9.1	
	関西地域	61 100.0	30 49.2	6 9.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.3	2 3.3	6 9.8	4 6.6	3 3.3	0 0.0	9 14.8	
	中国地域	54 100.0	21 38.9	2 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 14.8	0 0.0	2 3.7	2 31.5	17 31.5	1 1.9	0 0.0	3 5.6
	九州・沖縄地域	23 100.0	10 43.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 17.4	0 0.0	4 17.4	0 0.0	0 4.3	1 4.3	0 0.0	4 17.4
	その他地域	11 100.0	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	2 18.2	2 18.2	2 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1
	年上のきょうだいがいない	431 100.0	245 56.8	28 6.5	0 0.0	0 0.0	3 0.7	44 10.2	9 2.1	24 5.6	22 5.1	6 1.4	0 0.0	50 11.6	

(注)年上のきょうだいの居住地は、調査数が10未満の地域は「その他地域」としてまとめた。

図表 II-28 就職を予定する会社・団体の本社所在地と業種・職種の関係(第1志望)

		調査数	愛媛県	四愛媛県以外の地域	北海道	東北地域	北関東地域	東京圏	中部地域	関西地域	中国地域	九州・沖縄地域	海外	無回答
全体		1000	562	68	1	0	3	109	18	54	59	11	0	115
		100.0	56.2	6.8	0.1	0.0	0.3	10.9	1.8	5.4	5.9	1.1	0.0	11.5
IT・通信	全体	57	26	4	0	0	0	18	2	3	1	0	0	3
		100.0	45.6	7.0	0.0	0.0	0.0	31.6	3.5	5.3	1.8	0.0	0.0	5.3
	営業	20	8	2	0	0	0	6	1	2	1	0	0	0
		100.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	5.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	研究開発	10	4	1	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0
		100.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
SE	31	12	3	0	0	0	11	1	2	1	0	0	1	
	100.0	38.7	9.7	0.0	0.0	0.0	35.5	3.2	6.5	3.2	0.0	0.0	3.2	
事務経理	13	9	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
	100.0	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	
メーカー(製造業)	全体	73	37	1	0	0	1	10	2	5	9	1	0	7
		100.0	50.7	1.4	0.0	0.0	1.4	13.7	2.7	6.8	12.3	1.4	0.0	9.6
	営業	35	20	0	0	0	0	5	0	1	6	0	0	3
		100.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	2.9	17.1	0.0	0.0	8.6
	研究開発	21	11	0	0	0	1	1	1	1	3	0	0	3
		100.0	52.4	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8	4.8	14.3	0.0	0.0	14.3
製造	31	15	0	0	0	1	4	2	2	5	1	0	1	
	100.0	48.4	0.0	0.0	0.0	3.2	12.9	6.5	6.5	16.1	3.2	0.0	3.2	
事務経理	24	15	1	0	0	0	2	0	4	1	0	0	1	
	100.0	62.5	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	4.2	0.0	0.0	4.2	
商社	全体	28	20	2	0	0	0	2	0	1	3	0	0	0
		100.0	71.4	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	3.6	10.7	0.0	0.0	0.0
営業	23	16	2	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	
	100.0	69.6	8.7	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	
医療	全体	166	100	5	1	0	1	10	6	14	11	2	0	16
		100.0	60.2	3.0	0.6	0.0	0.6	6.0	3.6	8.4	6.6	1.2	0.0	9.6
	事務経理	32	25	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	3
		100.0	78.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	9.4
	医療専門職	130	77	4	1	0	1	8	6	13	9	2	0	9
		100.0	59.2	3.1	0.8	0.0	0.8	6.2	4.6	10.0	6.9	1.5	0.0	6.9
介護・福祉専門職	10	8	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
	100.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
介護・福祉	全体	61	52	1	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
		100.0	85.2	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	3.3	0.0	0.0	6.6
介護・福祉専門職	53	47	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	
	100.0	88.7	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	
金融	全体	61	38	10	0	0	0	7	0	0	3	0	0	3
		100.0	62.3	16.4	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	4.9
	営業	36	20	7	0	0	0	5	0	0	2	0	0	2
		100.0	55.6	19.4	0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6
	接客販売	20	13	3	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0
	100.0	65.0	15.0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	
事務経理	33	21	3	0	0	0	4	0	0	3	0	0	2	
	100.0	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	12.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	6.1	
建設・不動産	全体	44	16	6	0	0	0	10	0	4	2	0	0	6
		100.0	36.4	13.6	0.0	0.0	0.0	22.7	0.0	9.1	4.5	0.0	0.0	13.6
	営業	22	10	6	0	0	0	3	0	1	0	0	0	2
	100.0	45.5	27.3	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	9.1	
建築設計	22	9	0	0	0	0	5	0	3	1	0	0	4	
	100.0	40.9	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	0.0	13.6	4.5	0.0	0.0	18.2	
コンサルティング・法律・会計事務所等	9	6	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
人材サービス・アウトソーシング	13	5	0	0	0	0	2	0	2	2	1	0	1	
	100.0	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	15.4	15.4	7.7	0.0	7.7	
広告・マスコミ・出版	全体	40	26	1	0	0	0	4	0	1	1	0	0	7
		100.0	65.0	2.5	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	17.5
	営業	28	21	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2
	100.0	75.0	3.6	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	3.6	3.6	0.0	0.0	7.1	
事務経理	16	11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	
	100.0	68.8	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	

(前ページの続き)

		調査数	愛媛県	四愛媛県以外の地域	北海道	東北地域	北関東地域	東京圏	中部地域	関西地域	中国地域	九州・沖縄地域	海外	無回答
全体		1000	562	68	1	0	3	109	18	54	59	11	0	115
		100.0	56.2	6.8	0.1	0.0	0.3	10.9	1.8	5.4	5.9	1.1	0.0	11.5
小売	全体	59	34	4	0	0	1	9	0	1	3	1	0	6
		100.0	57.6	6.8	0.0	0.0	1.7	15.3	0.0	1.7	5.1	1.7	0.0	10.2
	営業	24	15	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	5
		100.0	62.5	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	20.8
	接客販売	46	24	4	0	0	1	8	0	1	3	1	0	4
	100.0	52.2	8.7	0.0	0.0	2.2	17.4	0.0	2.2	6.5	2.2	0.0	8.7	
事務経理	12	10	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
	100.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
飲食	全体	54	35	1	0	0	0	6	1	3	0	2	0	6
		100.0	64.8	1.9	0.0	0.0	0.0	11.1	1.9	5.6	0.0	3.7	0.0	11.1
	営業	16	12	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0
		100.0	75.0	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	接客販売	29	21	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	3
	100.0	72.4	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	6.9	0.0	3.4	0.0	10.3	
製造	29	19	1	0	0	0	3	0	1	0	0	0	5	
	100.0	65.5	3.4	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	17.2	
運輸・物流	全体	18	4	3	0	0	0	3	1	4	0	0	0	3
	100.0	22.2	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	16.7	
エネルギー	全体	12	8	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	
旅行・宿泊・レジャー	全体	15	6	0	0	0	0	5	1	0	2	0	0	1
		100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	6.7
接客販売	11	5	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	
	100.0	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	
農林水産	全体	14	8	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
	100.0	57.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	21.4	
教育	全体	47	28	3	0	0	0	4	0	4	3	2	0	3
		100.0	59.6	6.4	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0	8.5	6.4	4.3	0.0	6.4
	介護・福祉専門職	24	19	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
		100.0	79.2	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	8.3
教員	26	17	3	0	0	0	1	0	0	2	2	0	1	
	100.0	65.4	11.5	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	3.8	
公務	全体	83	43	17	0	0	0	4	1	3	11	0	0	4
		100.0	51.8	20.5	0.0	0.0	0.0	4.8	1.2	3.6	13.3	0.0	0.0	4.8
	営業	10	7	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
		100.0	70.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事務経理	43	27	10	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	
	100.0	62.8	23.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	9.3	0.0	0.0	2.3	
その他	41	16	12	0	0	0	3	1	1	6	0	0	2	
	100.0	39.0	29.3	0.0	0.0	0.0	7.3	2.4	2.4	14.6	0.0	0.0	4.9	
上記以外のサービス	全体	50	24	7	0	0	0	5	1	6	3	1	0	3
		100.0	48.0	14.0	0.0	0.0	0.0	10.0	2.0	12.0	6.0	2.0	0.0	6.0
	営業	11	6	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
		100.0	54.5	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
	接客販売	13	3	3	0	0	0	1	0	2	0	1	0	3
		100.0	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	23.1
理容師・美容師	13	7	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	
	100.0	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	18	10	3	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	
	100.0	55.6	16.7	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	
その他	全体	59	41	2	0	0	0	4	1	2	2	0	0	7
		100.0	69.5	3.4	0.0	0.0	0.0	6.8	1.7	3.4	3.4	0.0	0.0	11.9
	製造	13	9	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1
		100.0	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7
	理容師・美容師	15	13	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	86.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	20	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	100.0	70.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	

(注) 前業種と職種調査数が10未満の項目は省略した。

(4) 就職先を検討する際に影響を受ける人(問 18)

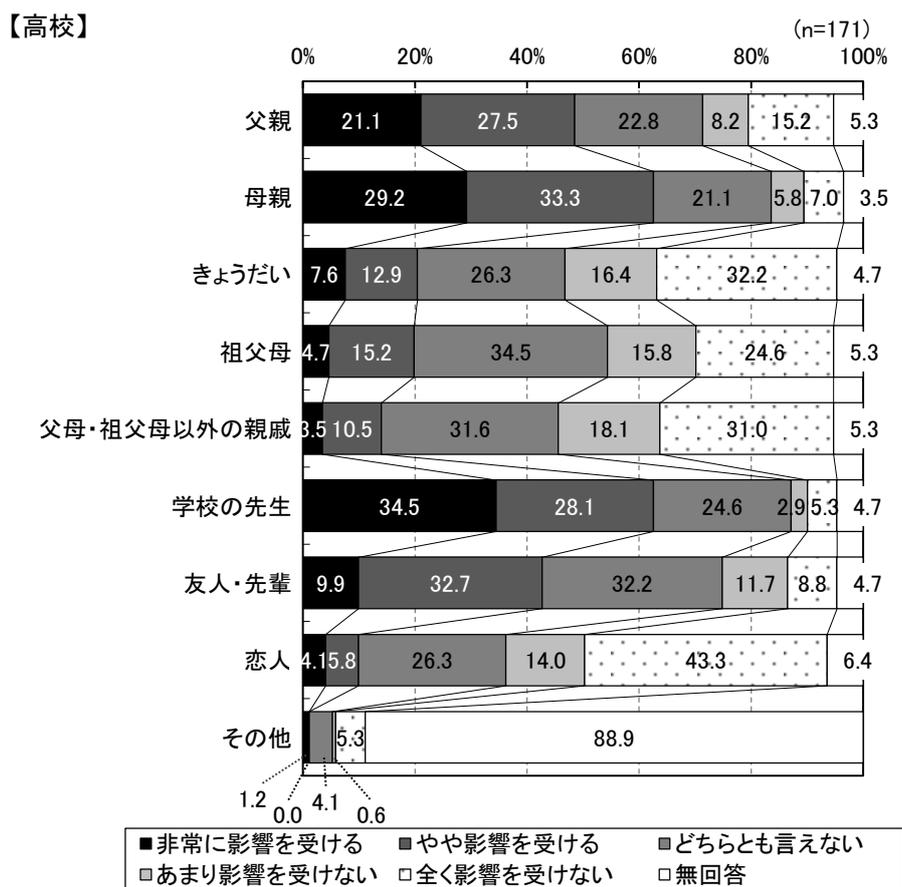
就職先を検討する際に影響を受ける人について尋ねたところ、「影響を受ける」（「非常に影響を受ける」と「やや影響を受ける」の合計）は、高校生では「学校の先生」が62.6%で最も割合が高く、次いで「母親」が62.5%、「父親」が48.6%となっている。「非常に影響を受ける」だけをみても「学校の先生」が34.5%で最も割合が高い。

大学生は「母親」が62.2%で最も高く、次いで「友人・先輩」が55.0%、「父親」が53.6%となっている。「非常に影響を受ける」だけをみると、「父親」が16.5%で最も高い。

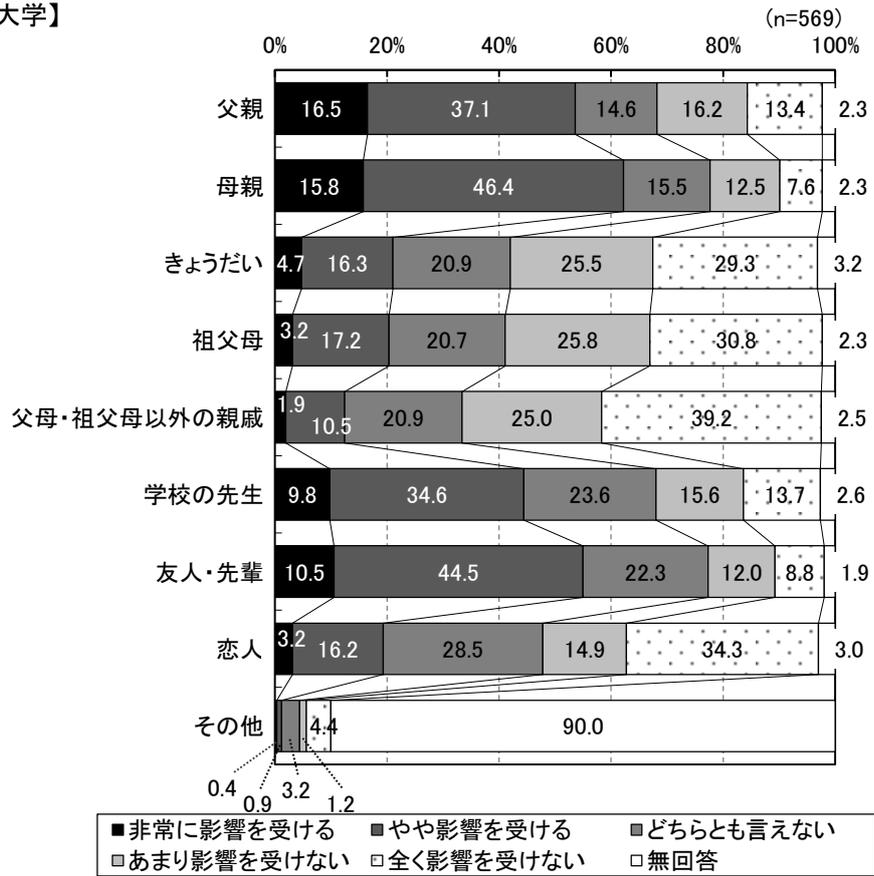
専修学校（専門学校）生は「母親」が63.8%で最も高く、次いで「学校の先生」が58.8%、「父親」が48.5%となっている。「非常に影響を受ける」だけをみても、「母親」が27.3%で最も高くなっている。

男女別にみると、「母親」、「きょうだい」では、「女性」の方が「影響を受ける」の割合が10ポイント以上高い。

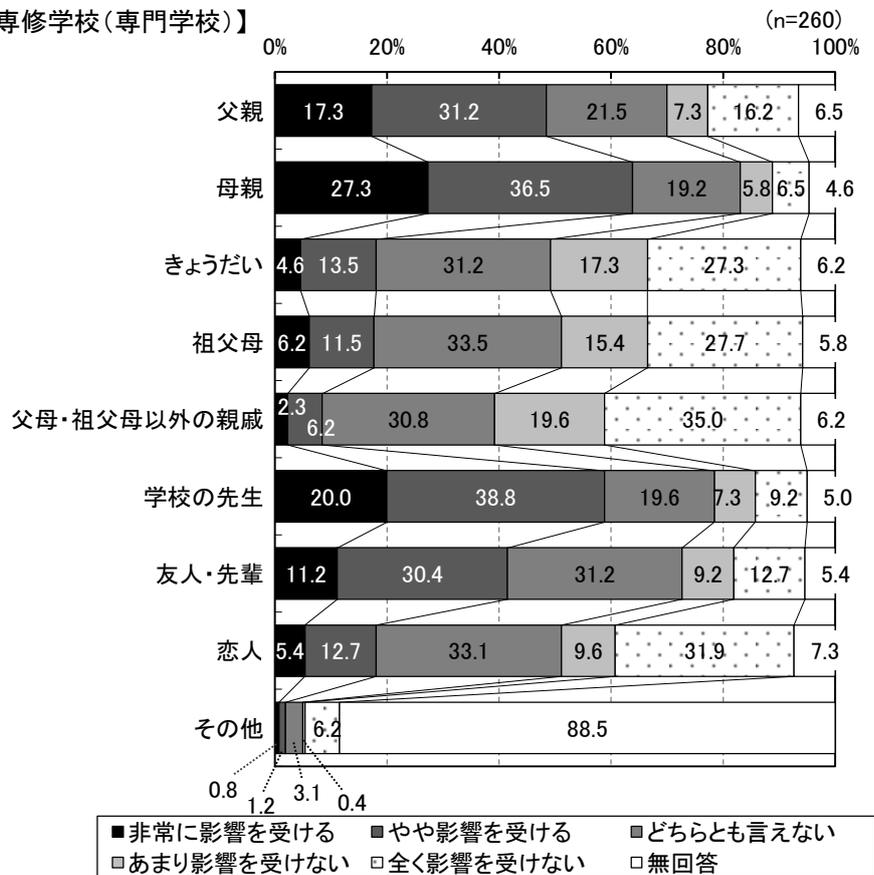
図表 II-29 就職先を検討する際に影響を受ける人



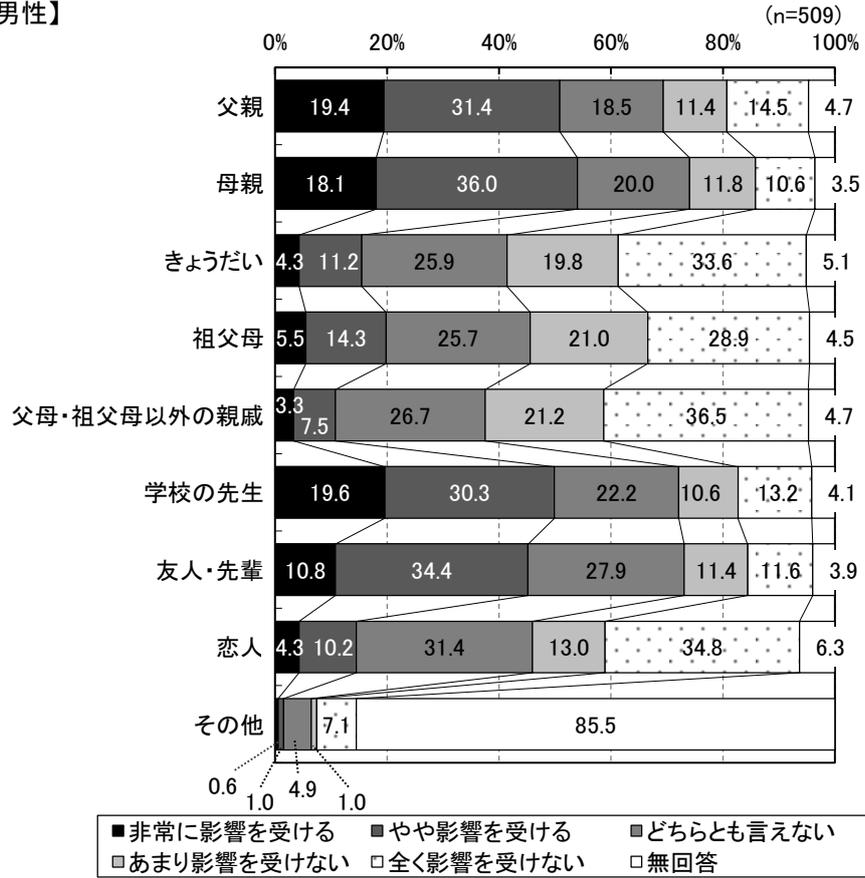
【大学】



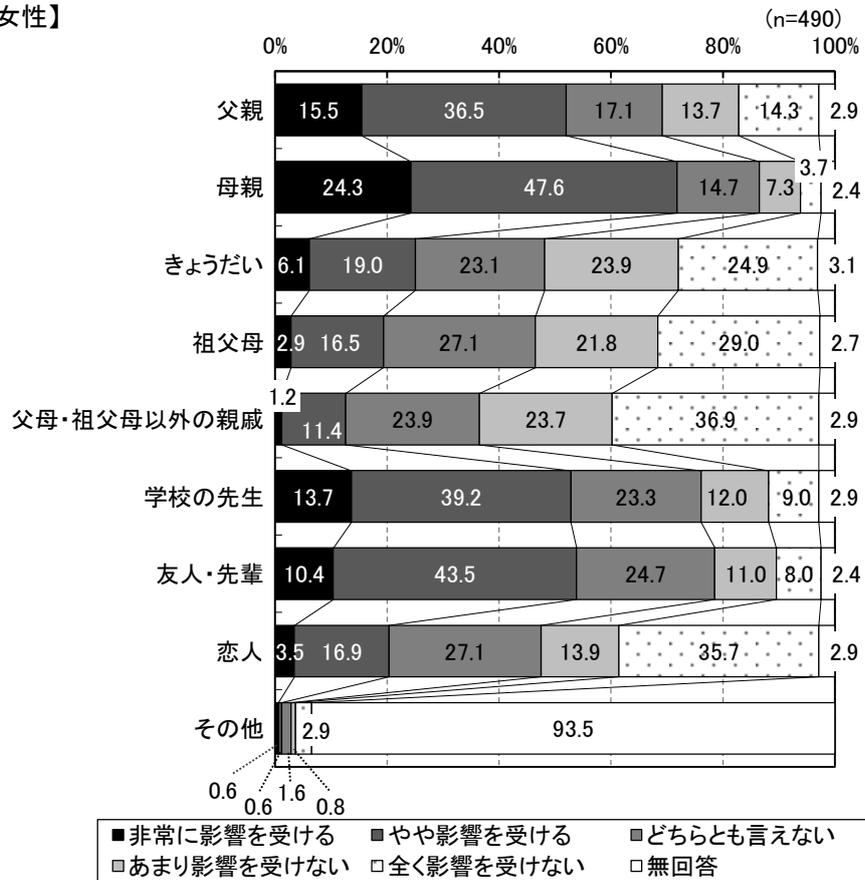
【専修学校(専門学校)】



【男性】



【女性】

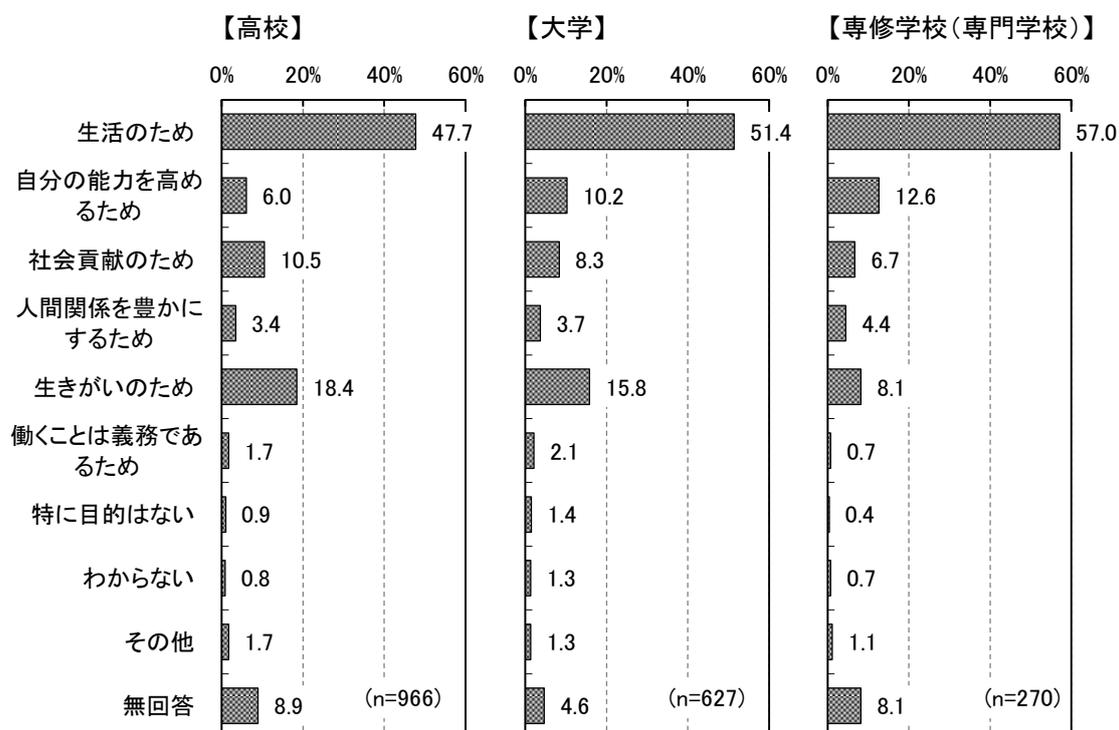


4. その他

(1) 仕事をする最も重要な目的(問 19)

仕事をする目的のうち、最も重要なものは、高校生では「生活のため」が47.7%で最も高く、次いで「生きがいのため」が18.4%、「社会貢献のため」が10.5%となっている。大学生では「生活のため」が51.4%で最も高く、次いで「生きがいのため」が15.8%、「自分の能力を高めるため」が10.2%である。専修学校(専門学校)生では「生活のため」が57.0%で最も高く、次いで「自分の能力を高めるため」が12.6%、「生きがいのため」が8.1%となっている。

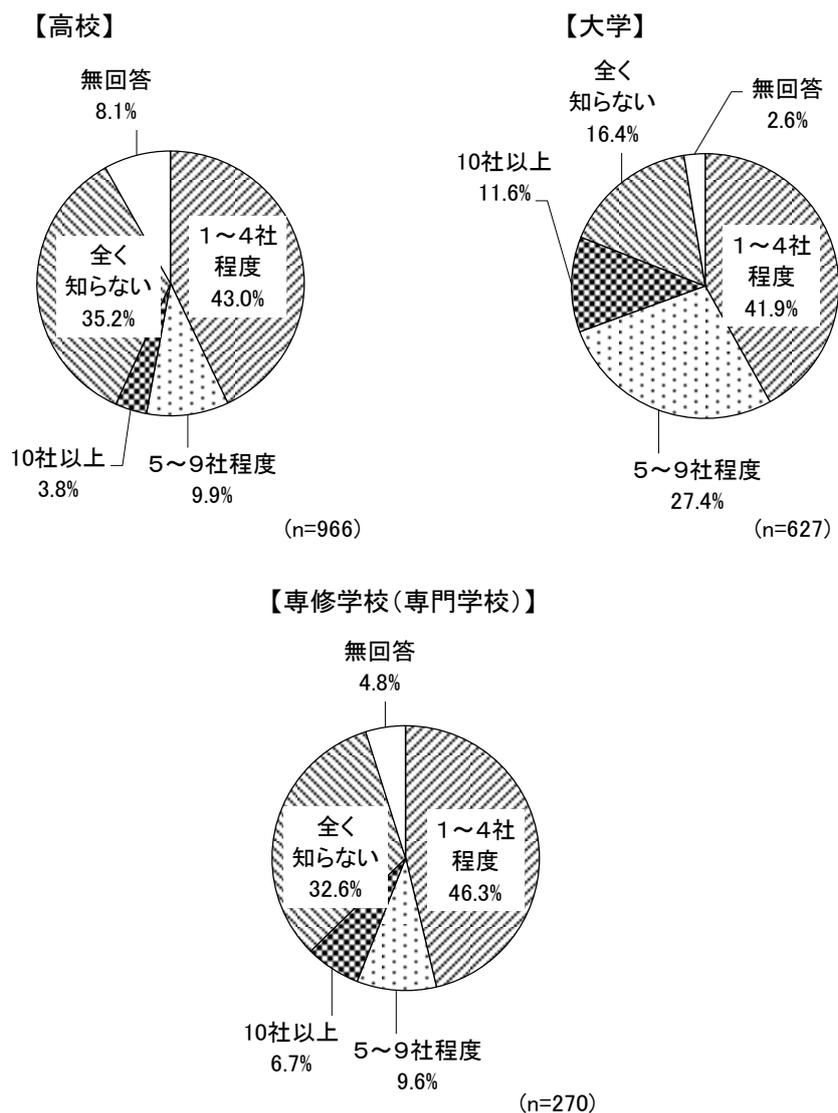
図表 II-30 仕事をする最も重要な目的



(2) 松山市に本社がある企業の認知度(問 20)

松山市に本社がある企業を何社知っているかについては、高校生は「1～4社程度」が43.0%で最も高く、次いで「全く知らない」が35.2%、「5～9社程度」が9.9%となっている。大学生は「1～4社程度」が41.9%で最も高く、次いで「5～9社程度」が27.4%、「全く知らない」が16.4%である。専修学校(専門学校)生は、「1～4社程度」が46.3%で最も高く、次いで「全く知らない」が32.6%、「5～9社程度」が9.6%となっている。

図表 II-31 松山市に本社がある企業の認知度



(3) 松山市がどのようになれば住み続けたいまちになるか(問 21)

将来的に松山市がどのようになれば、住み続けたいまち（仕事・学業・娯楽・暮らし等）になると思うかを尋ねたところ、850 人から回答を得た。テーマごとの主な意見は以下の通りである。

なお、件数について、1つの回答に複数のテーマが含まれている場合は、それぞれのテーマにカウントしている。

(ア) 仕事に関わる意見 (97 件)

■仕事の質・量が向上すること (62 件)

- ・いろいろな種類の仕事がある。
- ・希望する仕事がある。
- ・仕事が豊富にある／雇用が増える。
- ・松山に本社がある企業が増える。
- ・地元産業が発展すること。
- ・大企業があること。
- ・安定した仕事に就けること。
- ・若者が働ける企業があること。

■就労環境の改善／ワークライフバランスに関すること (22 件)

- ・働きやすい環境。
- ・ブランクがあっても再就職しやすい環境。
- ・女性が働きやすい環境。
- ・育児休暇・産休がしっかり取れる。
- ・休みがしっかり取れる。

■給与に関すること (18 件)

- ・給与を上げてほしい。
- ・看護師の給与がどの県よりも低い。
- ・保育士の給与が上がること。

(イ) 学業に関わる意見 (41 件)

- ・大学を増やす（愛媛大学以外の国公立大学、理系大学など）。
- ・学部を増やす。
- ・専門学校の種類を増やす。
- ・教育に力を入れる。

(ウ) 交通利便性の向上に関する意見 (194 件)

■市内における交通利便性の向上 (66 件)

- ・交通の便が良くなる。
- ・交通費が安くなる。

- ・遅い時間まで公共交通が運行している。
- ・電車やバスの本数が増える。
- ・郊外から中心地へのアクセスを良くする。
- ・道路の混雑の緩和。
- ・道路が整備される。
- ・駐輪場の充実。

■市外・県外との交通アクセスの向上（46件）

- ・他県・本州とのアクセスを良くする。
- ・本州との移動の費用を安くする。
- ・新幹線の開通。

■交通マナーの向上（23件）

- ・自転車のマナーを改善する（運転、違法駐輪）。
- ・歩行者のマナーを改善する（歩きスマホ等）。

（エ）生活利便性の向上に関する意見（156件）

■娯楽に関すること（87件）

- ・娯楽施設の充実（遊園地や水族館、アミューズメントパークなど）。
- ・スポーツができる環境を増やす。

■ショッピング・買い物に関すること（43件）

- ・大型ショッピングモールがほしい。
- ・大きなデパートがあると良い。
- ・おしゃれなお店・都会にあるお店があると良い。
- ・カフェ・喫茶店の充実。
- ・商店街を綺麗にする。

■その他生活利便性（45件）

- ・公共施設、図書館、公園の充実。

（オ）まちの活性化に関する意見（101件）

- ・観光スポットを多くする。
- ・観光に力を入れて外から観光客を呼び込む。
- ・参加型イベントが増える。
- ・JR松山駅を綺麗にする。
- ・活気のあるまちになれば良い。
- ・イベント（芸術、スポーツ、音楽など）の充実。
- ・商店街の活性化。
- ・若者が増える。

(カ) 自然環境・災害・治安等に関する意見 (93 件)

■自然環境 (25 件)

- ・自然と調和したまち／自然豊かなまち。
- ・緑がたくさんあるといい。
- ・環境に優しいまち。

■治安・災害対策 (34 件)

- ・地震に強いまち。
- ・犯罪が少なく安全なまち。
- ・水不足の心配が解消されること。
- ・交通事故が減る。

■その他環境 (13 件)

- ・環境が良いまち。
- ・街がきれいに保たれている。
- ・衛生状態がいい。

(キ) 医療・福祉・保育・社会保障に関する意見 (40 件)

- ・福祉の充実。
- ・医療費の支援。
- ・待機児童、待機老人がいないこと。
- ・身体の不自由な人が住みやすいまち。
- ・女性や小さな子、お年寄りなど誰でも住みやすいバリアフリーなまちになれば良い。
- ・子育て支援の充実。

(ク) 税・市政全般に関する意見 (18 件)

- ・行政が市民の意見や要望を聞き、応じてくれること。
- ・税金の使いみちが適正であること。
- ・税の負担を減らす。

(ケ) まちのイメージや方向性に関する意見 (102 件)

■今のままで良いという意見 (53 件)

- ・今のままで良い。
- ・十分住みやすいまちである。
- ・都会すぎず、田舎すぎもしない。

■人の交流・コミュニティに関する意見 (17 件)

- ・協力しあえる地域を築く。
- ・人々の結びつきを強くする。
- ・人との交流の機会が増える。

■その他の意見 (32 件)

- ・まちに個性があること／まちの特徴を活かすこと。
- ・誇りに思えるものがあること。
- ・魅力あふれるまち。
- ・楽しいまち／楽しいところがたくさんある。
- ・平和に過ごせること。
- ・のんびり暮らせるまち。
- ・市民があたたかく、思いやりがあるまち。
- ・一人一人がいきいきしたまち。
- ・保守的・閉鎖的でなくなれば良い。

(コ) その他の意見 (51 件)

- ・自習できる環境を増やしてほしい。
- ・若者には物足りないが、年を取り落ち着いたら戻ってきてもいい。